



この説明書を保存してください。本取扱説明書には安全に関する重要な注意事項が記載されています。これを怠ると、重傷を負う可能性があります。この取扱説明書は製品と一緒に保管してください。

本取扱説明書に記載されている仕様、説明、イラストは、発行時点で判明しているものであり、予告なく変更される場合があります。

**TAKE IT
OUTSIDE™**



一酸化炭素は命を危険にさらします

一酸化炭素の安全性:

ポータブル発電機を安全に使用する唯一の方法として、家族を一酸化炭素から守るためには、発電機を外に持ち出すことが絶対に必要です。しかし、それ以外にもできることがあります。一酸化炭素のあらゆるリスクについて学ぶことで、この無色無臭の脅威から家族を守るための備えが整います。



必ず最初に取り扱説明書をお読みください



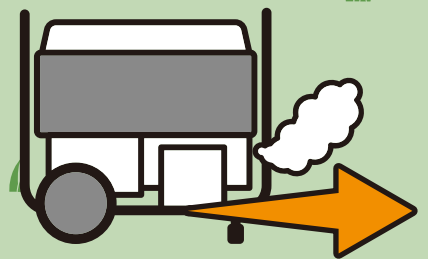
症状について知る

- 頭痛
- 息切れ
- 疲労感
- 吐き気
- めまい

一酸化炭素検知器で警戒を怠らない

ドアや窓、車庫から離して屋外に置く

症状を感じたら、すぐにその場を離れる



蒸発気を近くにいる人に近づけない

www.TakeYourGeneratorOutside.com

目次

はじめに	4	エアフィルターの清掃	28
安全に関する定義	4	スパークアレスタの清掃	29
重要な安全上のご注意	5	燃料充填アシストLEDバッテリーの交換	29
燃料の安全性	7	ガバナーの調整	30
安全ラベルとデータプレートラベル	8	発電機バッテリー	30
安全シンボルマーク	9	メンテナンススケジュール	30
操作記号	10	保管	31
クイックスタートラベルの記号	11	LPGの保管	31
コントロールと機能	12	短期保管(最大30日間)	31
発電機	12	中期保管(30日~1年)	31
コントロールパネル	13	長期保管(1年以上)	32
パワーメーター付きインテリゲージ	14	保管場所からの取り出し	32
付属部品	15	仕様	33
組み立て	16	発電機の仕様	33
開梱	16	エンジンの仕様	33
緩衝材の取り外し	16	オイルの仕様	33
バッテリーの接続	16	燃料の仕様	33
エンジンオイルの追加	16	バッテリーの仕様	33
LEDパネル	17	温度仕様	33
燃料充填アシストLED	18	図A 部品図	34
燃料の追加:ガソリン	18	図A 部品リスト	35
燃料の追加:プロパン(LPG)	19	図F 部品図	36
接地	20	図F 部品リスト	37
操作	20	図G 部品図	38
発電機の設置場所	20	図G 部品リスト	39
サージ保護	21	図H 部品図	40
エンジンの始動:ガソリン	21	図H 部品リスト	41
エンジンの始動:プロパン(LPG)	22	図B 部品図	42
電気負荷の接続	24	図B 部品リスト	43
発電機に過負荷をかけない	24	図C 部品図	45
エコ(エコノミー)モード	25	図C 部品リスト	46
DC12V 車載用安定化コンセント	25	図D 部品図	47
並列運転(米国のみ)	26	図D 部品リスト	48
エンジンの停止	26	配線図	49
発電機の移動	26	トラブルシューティング	50
高地での操作	27		
メンテナンス	27		
発電機のクリーニング	27		
エンジンオイルの交換	28		
スパークプラグの清掃と調整	28		

はじめに

この度は、Champion Power Equipment (CPE) 製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。CPE は、すべての製品を厳格な仕様とガイドラインに従って設計、製造、サポートしています。適切な製品知識、安全な使用、定期的なメンテナンスにより、本製品は長年にわたり満足のいくサービスを提供することができます。

本取扱説明書に記載されている情報の正確さ、完全さには万全を期しておりますが、本製品および本書類は、事前の通知なしにいつでも変更、修正、改良する権利を有します。

CPEは、当社の製品がどのように設計、製造、操作、および保守されているか、また、操作者および発電機の周囲にいる人々に安全を提供できているかを非常に重視しています。したがって、使用前にこの製品マニュアルおよびその他の製品資料を十分に確認し、製品の組み立て、操作、危険性、メンテナンスについて十分な認識と知識を持つことが重要です。各使用前に、適切な安全手順および操作手順を十分に理解し、本製品を操作する予定の他の人々にも十分に理解してもらうようにしてください。本製品を使用する際は、事故や物的損害、傷害が発生しないよう、常に常識の範囲内で慎重に行ってください。CPE製品を末永くご愛用いただき、ご満足いただけることを願っております。

CPEに部品および/またはサービスについてお問い合わせの際は、製品の完全なモデル番号およびシリアル番号をお知らせいただく必要があります。製品の銘板ラベルに記載されている情報を以下の表に転記してください。

技術サポート
お客様相談窓口 0120-829-859
型式
501003-J
シリアルナンバー
購入日
購入場所

安全に関する定義

安全シンボルの目的は、起こりうる危険に注意を促すことです。安全シンボルとその説明には、十分な注意と理解が必要です。安全警告は、それ自体で危険を排除するものではありません。安全シンボルが示す指示や警告は、適切な事故防止対策の代用となるものではありません。

▲ 危険

このマークは、回避しなければ死亡または重傷に至る危険な状況を示します。

▲ 警告

このマークは、回避しなければ死亡または重傷に至る可能性のある危険な状況を示しています。

▲ 注意

このマークは、この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

🗨️ 注意

このマークは、危険とは関係ないが重要であると考えられる情報を示しています。(物的損害に関するメッセージなど)

重要な安全上の注意

⚠ 危険

発電機の排気ガスには、無色、無臭の有毒ガスである一酸化炭素が含まれています。一酸化炭素を吸うと、吐き気、めまい、失神、または死に至ることがあります。めまいや脱力感を感じ始めたら、すぐに新鮮な空気のある場所に移動してください。

発電機は、屋外の換気の良い場所でのみ操作してください。屋外では、換気の良い場所で排気を行います。

屋内では、絶対に発電機を操作しないでください。

車庫、地下室、納戸、小屋、囲いのある建物の内部で発電機を運転しないでください。キャンピングカー等を含む、いかなる建物内でも発電機を運転しないでください。

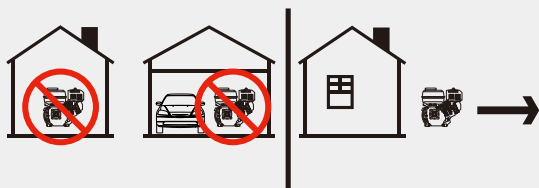
排気ガスを、窓、ドア、換気口、その他の閉め切った場所から排気ガスが入らないようにしてください。

⚠ 危険

室内で発電機を使用すると、数分で死に至る可能性があります。発電機の排気ガスには一酸化炭素が含まれています。これは目に見えず、匂いもしない毒です。

ドアや窓が開いていても、家やガレージの中では絶対に使用しないでください。

必ず屋外で、窓、ドア、換気口から離れた場所で使用してください。



電池式の一酸化炭素警報器、または電池バックアップ付きのプラグイン式一酸化炭素警報器をメーカーの指示に従って設置してください。

⚠ 警告

発電機にはスパークアレスタ（火花防止装置）が内蔵されていますが、火災を防止するため、乾燥した草木から最低1.5 mの距離を保ってください。

⚠ 危険

発電機は強力な電圧を発生させます。

裸のワイヤーやレセプタクルに触れないでください。摩耗、損傷、ほつれのある電気コードは使用しないでください。

雨天時に発電機を操作しないでください。

子供や資格のない人に発電機の操作や修理をさせないでください。

湿気の多い場所や、金属デッキのような導電性物質を含む場所では、漏電遮断器 (ELCB) を使用してください。ご家庭の電気系統に接続するには、以下のものがが必要です。

電気工事が設置し、管轄当局が承認した30Aトランスファースイッチが必要です。接続は、発電機を商用電源から切り離し、適用されるすべての法律と電気規則に準拠する必要があります。

⚠ 警告

発電機を医療や生命維持のために使用しないでください。

緊急の場合は、すぐに119に電話してください。

本製品を生命維持装置や生命維持器具の電源として使用しないでください。

本製品を医療機器や医療器具の電源として使用しないでください。

あなたやあなたの家庭で電気機器に依存して生活している人がいる場合は、直ちに電気供給者に連絡してください。

停電により、ご本人またはご家族の誰かが医療上の緊急事態に陥った場合は、直ちに電気供給者に連絡してください。

⚠ 警告

取り外したスパークプラグワイヤーから火花が生じ、火災や感電の原因となることがあります。

発電機を整備する場合：

スパークプラグワイヤーを外し、プラグや他の金属物に接触しない場所に置きます。

プラグを取り外した状態で火花を確認しないでください。

承認されたスパークプラグテスターのみを使用してください。

▲ 警告

走行中のエンジンは熱を発生します。接触すると重度の火傷を負う恐れがあります。可燃物は接触すると発火する恐れがあります。

高温の表面には触れないでください。
高温の排気ガスに触れないでください。
触れる前に機器を冷ましてください。
十分な冷却を確保するため、四方に少なくとも91.4cm(3フィート)の空間を確保してください。
可燃性の材料から少なくとも1.5m(5フィート)の空間を確保してください。

▲ 警告

リコイルコードが急激に引き込む際、手や腕がエンジンの方に引っ張られ、手を放すよりも早く引き込まれます。その際、骨折、打撲、捻挫の恐れがあります。意図せずに始動すると、もつれ、外傷性切断、裂傷に至る可能性があります。

エンジンを始動するときは、抵抗が感じられるまでリコイルコードをゆっくり引き、キックバックを避けるために素早く引いてください。
電気機器のプラグが接続され、電源が入っている状態でエンジンの始動や停止を行わないでください。

▲ 警告

発電機には火花防止装置が内蔵されていますが、火災を防止するため、乾燥した草木から最低1.5 mの距離を保ってください。

▲ 注意

発電機の運転容量を超えると、発電機やそれに接続された電気機器に損傷を与える可能性があります。

発電機に過負荷をかけないでください。
ガバナ回転数を変更しないでください。いかなる方法でも発電機を改造しないでください。

▲ 注意

発電機を始動し、エンジンが安定してから電気負荷を接続します。
電気機器をオフの位置で接続し、操作のためにそれらをオンにします。
発電機を停止する前に、電気機器の電源を切り、接続を外します。

▲ 注意

発電機の不適切な処理や使用は、発電機を損傷し、寿命を縮めたり、保証を無効にする可能性があります。

発電機は、意図された用途にのみ使用してください。
平らな場所でのみ操作してください。
発電機を過度の湿気、ほこり、汚れにさらさないでください。
冷却スロットを塞ぐものを置かないでください。
接続されたデバイスが過熱した場合は、デバイスの電源を切り、発電機から取り外してください。

以下の場合、発電機を使用しないでください：

- 電気出力が失われる。
- 機器が火花を散らす、煙が出る、または炎を発する。
- 装置が過度に振動する。

燃料の安全性

▲ 危険

ガソリン、ガソリンの蒸気、プロパン (LPガス) は非常に可燃性が高く、爆発する性質があります

火災や爆発により、重度の火傷を負ったり死亡したりする恐れがあります。

ガソリンおよびガソリン蒸気:

- ・ガソリンは非常に可燃性が高く、爆発する性質があります。
- ・ガソリンに引火すると、火災や爆発を引き起こす恐れがあります。
- ・ガソリンは液体燃料ですが、その蒸気に引火することがあります。
- ・ガソリンは皮膚を刺激するため、皮膚や衣服にこぼれた場合は、直ちに洗浄する必要があります。
- ・ガソリンには特有の臭いがあり、漏れの可能性を素早く発見するのに役立ちます。
- ・石油ガス火災では、燃料供給バルブをオフにしない限り、炎を消さないでください。消火しても燃料の供給が止められなければ、爆発の危険が生じます。
- ・ガソリンは周囲温度によって膨張または収縮します。気温が上昇するとガソリンが膨張するため、絶対にガソリンを満タンにしないでください。

LPG:

- LPGは非常に可燃性が高く、爆発しやすい性質があります。
- ・LPGには圧力がかかっており、引火すると火災や爆発を引き起こす恐れがあります。
 - ・LPGは空気より重く、消散しながら低い場所に沈殿することがあります。
 - ・LPGには、潜在的な漏れを素早く発見するのに役立つ独特の臭いが付加されています。
 - ・石油ガス火災では、燃料供給バルブがオフになっていない限り、炎を消さないでください。消火しても燃料の供給が止められなければ、爆発の危険が生じる可能性があります。
 - ・LPGボンベを交換する際は、ボンベバルブが同じタイプであることを確認してください。
 - ・LPGボンベは必ず直立した状態で保管してください。
 - ・LPGは皮膚に触れると火傷します。LPGは常に皮膚に触れないようにしてください。

ガソリンを入れる、または抜くとき:

タバコに火をつけたり、吸ったりしないでください。
発電機の電源を切り、最低2分間冷やしてからガソリンキャップを取り外します。必ずゆっくりとキャップを緩め、タンク内の圧力を逃がしてください。
ガソリンの給油や抜き取りは、屋外の換気の良い場所で行ってください。

ガソリンスタンドで発電機に直接ガソリンを入れないでください。燃料を発電機に移す際は、必ず認可された容器を使用してください。

ガソリンを入れ過ぎないでください。

ガソリンを火花、裸火、種火、熱、その他の着火源から常に遠ざけてください。

発電機を始動する場合:

損傷した発電機を始動させないでください。

ガソリンキャップ、エアフィルター、スパークプラグ、フューエルライン、排気装置が適切に設置されていることを必ず確認してください。

エンジンを始動する前に、必ずこぼれたガソリンを完全に蒸発させてください。

発電機が平らな地面にしっかりと置かれていることを常に確認してください。

発電機を操作する場合:

運転中に発電機を動かしたり、傾けたりしないでください。

発電機を運搬または修理する場合

燃料バルブがOFFの位置にあり、ガソリンタンクが空であることを必ず確認してください。

LPG対応モデルの場合、LPGボンベが取り外され、発電機から離れた場所にしっかりと保管されていることを確認します。

スパークプラグワイヤーを外します。

発電機を保管する場合:

火花、裸火、パイロットランプ、熱、その他の着火源から離して保管します。

発電機、ガソリンまたはLPGボンベを、炉、湯沸かし器、その他熱を発生したり、自動点火のある電気器具の近くに保管しないでください。

▲ 危険

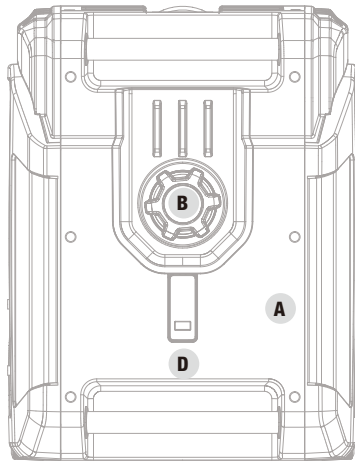
エンジンの運転中は、ガソリン容器、ガソリンタンク、LPGボンベまたは可燃物を排気経路に絶対に置かないでください。

▲ 警告

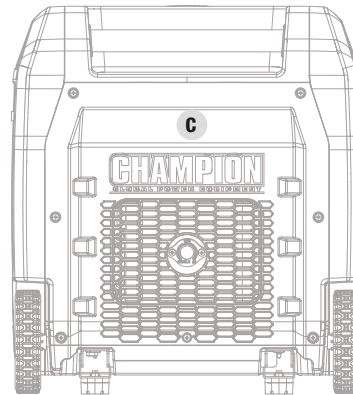
ガソリン容器、ガソリンタンク、LPGコネクターホース、LPGボンベ、その他の燃料品については、壊れたり、切れたり、破れたり、損傷しているものは絶対に使用しないでください。

安全ラベルとデータプレートラベル

これらのラベルは、重大な人身事故を引き起こす可能性のある潜在的な危険について警告しています。注意深くお読みください。ラベルがはがれたり、読みにくくなった場合は、技術サポートまでご連絡ください。



上部



側面

	ラベル	内容																																				
A		安全シンボル/ 一酸化炭素の危険																																				
B		燃料																																				
C		表面の過熱																																				
D	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"> CHAMPION POWER EQUIPMENT, INC. 12039 SMITH AVENUE SANTA FE SPRINGS, CA 90670 USA / E.-U. MADE IN CHINA / 中国製 </td> <td> FREQUENCY (Hz) 周波数 (Hz) </td> <td>50/60</td> <td> MAX AMBIENT TEMP. 最高使用環境温度 </td> <td>104°F 40°C</td> </tr> <tr> <td>MODEL 型番</td> <td>501003-J</td> <td>RPM 回転数 / MIN</td> <td>3600</td> <td>INSULATION CLASS 絶縁等級</td> <td>F</td> </tr> <tr> <td>SERIAL NO. シリアル番号</td> <td>XXXXXXXXXXXX</td> <td>PHASE フェーズ</td> <td>1</td> <td>GASOLINE WATTS ガソリン ワット数</td> <td>3800</td> </tr> <tr> <td>MANUFACTURE DATE 製造年月日</td> <td>XXXX</td> <td>POWER FACTOR 力率</td> <td>1.0</td> <td>PROPANE WATTS プロパン ワット数</td> <td>3420</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>AC VOLTS 交流電圧</td> <td>100</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>AC AMPS 交流電流</td> <td>38</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	CHAMPION POWER EQUIPMENT, INC. 12039 SMITH AVENUE SANTA FE SPRINGS, CA 90670 USA / E.-U. MADE IN CHINA / 中国製		FREQUENCY (Hz) 周波数 (Hz)	50/60	MAX AMBIENT TEMP. 最高使用環境温度	104°F 40°C	MODEL 型番	501003-J	RPM 回転数 / MIN	3600	INSULATION CLASS 絶縁等級	F	SERIAL NO. シリアル番号	XXXXXXXXXXXX	PHASE フェーズ	1	GASOLINE WATTS ガソリン ワット数	3800	MANUFACTURE DATE 製造年月日	XXXX	POWER FACTOR 力率	1.0	PROPANE WATTS プロパン ワット数	3420			AC VOLTS 交流電圧	100					AC AMPS 交流電流	38			データプレート
CHAMPION POWER EQUIPMENT, INC. 12039 SMITH AVENUE SANTA FE SPRINGS, CA 90670 USA / E.-U. MADE IN CHINA / 中国製		FREQUENCY (Hz) 周波数 (Hz)	50/60	MAX AMBIENT TEMP. 最高使用環境温度	104°F 40°C																																	
MODEL 型番	501003-J	RPM 回転数 / MIN	3600	INSULATION CLASS 絶縁等級	F																																	
SERIAL NO. シリアル番号	XXXXXXXXXXXX	PHASE フェーズ	1	GASOLINE WATTS ガソリン ワット数	3800																																	
MANUFACTURE DATE 製造年月日	XXXX	POWER FACTOR 力率	1.0	PROPANE WATTS プロパン ワット数	3420																																	
		AC VOLTS 交流電圧	100																																			
		AC AMPS 交流電流	38																																			

安全シンボルマーク











本製品には、以下のような記号が使用されている場合があります。これらの記号の意味をよく理解し、正しくご使用ください。これらの記号を正しく理解することで、より安全に製品を操作することができます。

シンボル	意味
	取扱説明書を読む: けがの危険を減らすため、本製品を使用する前に必ず取扱説明書を読み、理解してください。
	クリアランス: 四方の可燃物を発電機から1.5m以上離してください。マフラーや排気ガスの熱により、可燃物に引火する恐れがあります。
	接地: 操作の前に、地域の電気技師に相談して、接地の必要条件を決定してください。
	感電: 乾燥した環境で使用し、安全な手順を守らないと、感電する恐れがあります。建物への接続が不適切な場合、電流がユーティリティラインに逆流し、感電の危険があります。建物に接続する際は、必ず転送スイッチを使用してください。
	火災 / 爆発: 燃料およびその蒸気は非常に可燃性が高く、爆発する性質があります。火災や爆発は、重度の火傷や死亡事故を引き起こす可能性があります。燃焼を防止するため、発電機をすべての物体から少なくとも1.5 m離してください。
	表面の過熱: 怪我や損傷の危険を避けるため、高温の表面には触れないようにしてください。
	直火注意: 燃料およびその蒸気は、非常に常に可燃性が高く、爆発する性質があります。喫煙、裸火、火花、種火、熱、その他の着火源から燃料を遠ざけてください。
	濡れた場所で使用しない: 雨にさらしたり、湿気の多い場所で使用しないでください。

操作記号

本製品には、以下のような記号が使用されている場合があります。これらの記号の意味をよく理解してください。これらの記号を正しく理解することで、より安全に製品を操作することができます。

シンボル	意味
	スタート
	オン
	ストップ/オフ
	プロパン操作
	ガソリン操作
	ガソリンバルブオフ
	チョーク
	プロパン注入口
	サーキットブレーカーリセット/押す
	DC12V
	アース端子
	並列接続 (米国のみ)

シンボル	意味
	ニュートラルフローティング。ニュートラル回路は、発電機のフレーム/アースに電氣的に接続されていません。
	LEDライトボタン
	過負荷リセットスイッチ
	低オイル
	エコノミーモードボタン
	電圧
	ヘルツ
	稼働時間
	出力電力
	メンテナンスが必要です。メンテナンススケジュールの項を参照してください。ACリセットボタンを3秒間押し続けると、リセットされます。

クイックスタートラベルの記号

本製品には、以下のような記号が使用されている場合があります。これらの記号の意味をよく理解してください。これらの記号を正しく理解することで、より安全に製品を操作することができます。



エンジンの始動-手動スタート

⚠ 危険

発電機を屋外に移動し、窓から遠ざけ、ドアや吸気口から離してください。

1. オイルレベルを点検します。
推奨オイルは10W-30です。
2. ガソリンレベルを点検します。
ガソリンを入れる場合は、オクタン価87、およびエタノール含有量が10%以下のものを使用してください。
3. EZスタートダイヤルをガソリンの「CHOKE」位置に回します。
4. リコイルコードを引きます。
5. EZスタートダイヤルをガソリンの「RUN」位置に回します。
6. 希望の機器のプラグを差し込みます。

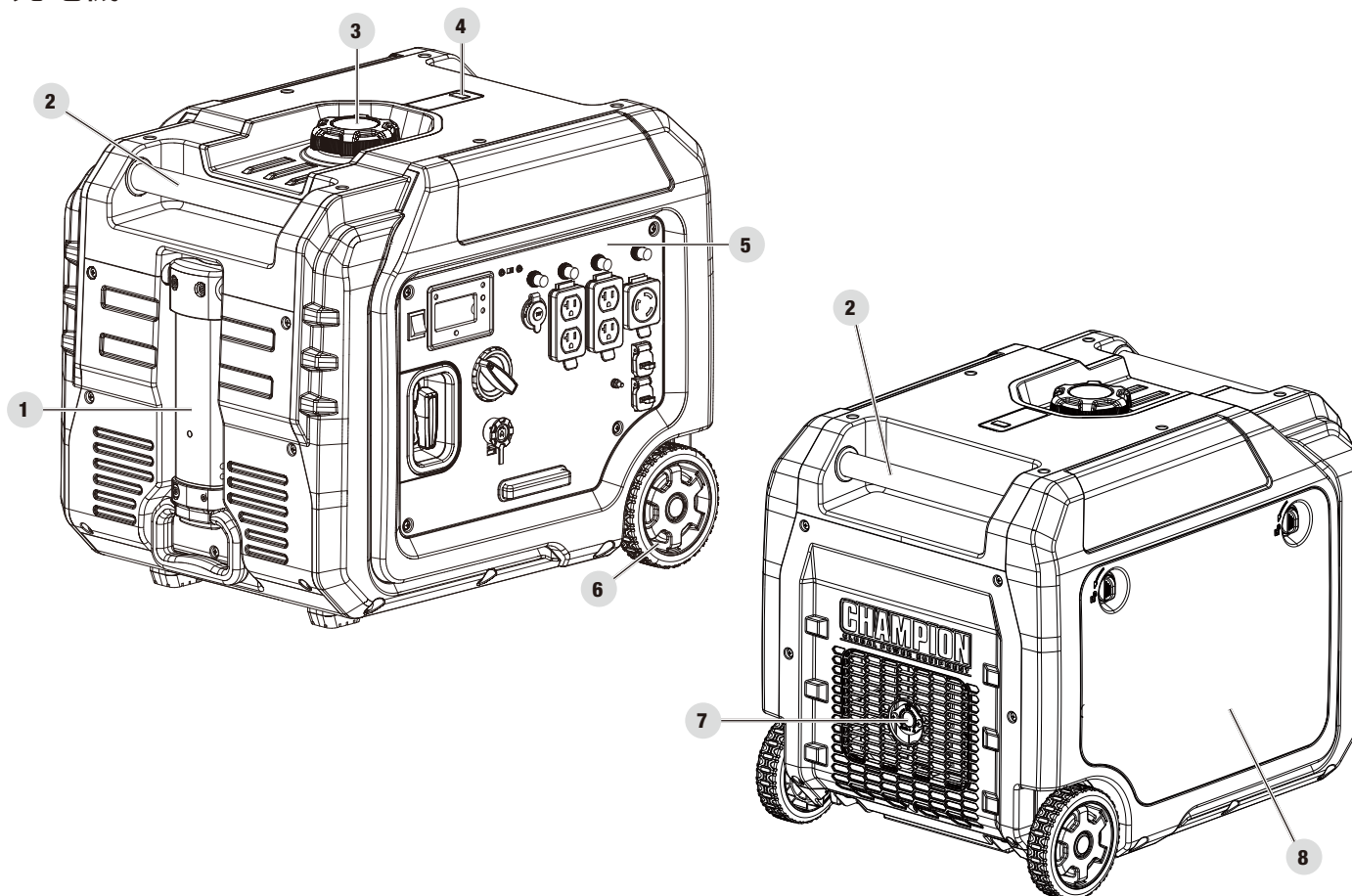
エンジンの停止

1. 接続されているすべての電気負荷をオフにし、プラグを抜いてください。
2. EZスタートダイヤルを「OFF」位置に回します。
LPGでの燃料の追加およびエンジンの始動については、「燃料の追加」を参照してください。
「組み立て」の項のプロパン (LPG) およびエンジンの始動の項を参照してください。
「操作」セクションのプロパン (LPG) を参照してください。

コントロールと機能

発電機を操作する前に、この取扱説明書をお読みください。制御装置や機能の場所と機能をよく理解してください。将来参照するために、この取扱説明書を保存してください。

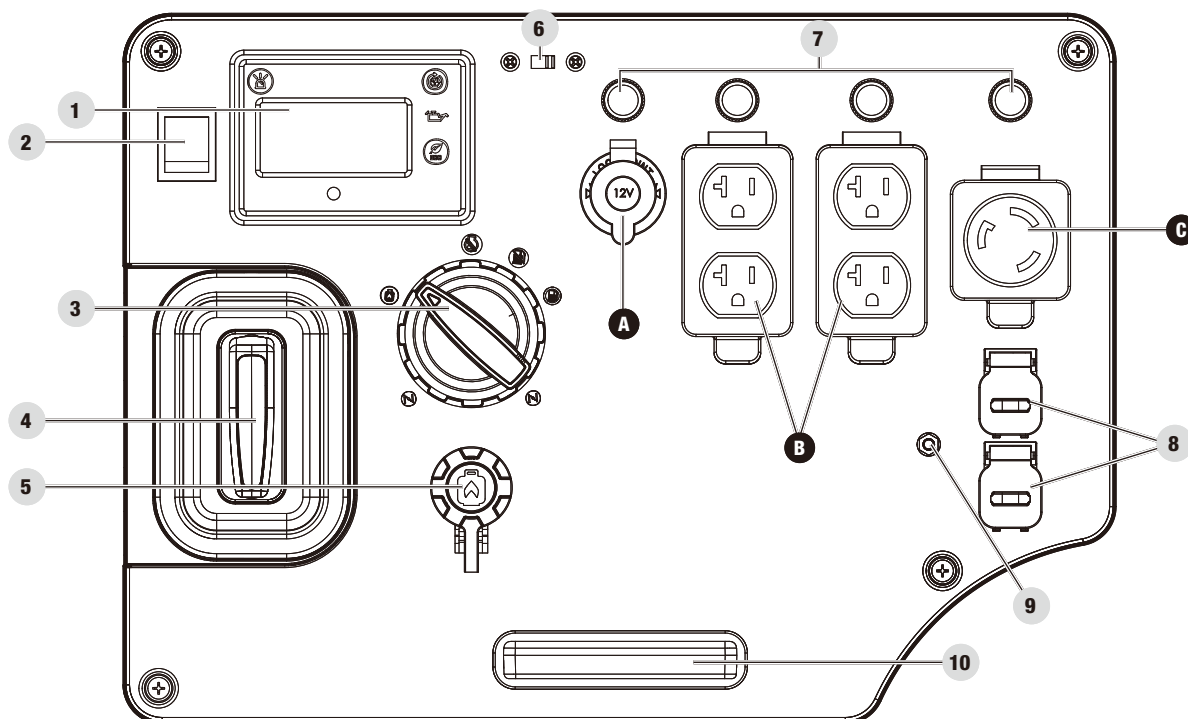
発電機



1. 折りたたみ式ハンドル-本機を車輪で転がし移動する際に使用する伸縮式ハンドルです。本機を吊り上げたり運んだりするために使用しないでください。
2. キャリングハンドル-本機を持ち上げたり運んだりする際に使用します。
3. 燃料キャップ-燃料を追加する際に取り外します。
4. 燃料充填アシストLED - 押して作動するLEDで、ガソリン充填エリアを照らします。

5. コントロールパネル-コントロールパネルの項を参照。
6. パンクしないホイール - 14 cm (5.5 インチ)
7. マフラー
8. メンテナンスカバー

コントロールパネル



1. パワーメーター付きインテリゲージ - パワーメーター付きインテリゲージの項を参照。
2. イグニッション・スイッチ
3. EZスタートダイヤル-発電機を停止させ、燃料供給とチョークを制御するために使用します。
4. リコイルコード
5. LPGインレット-LPG燃料源を発電機に接続するために使用します。
6. 50/60 Hz 周波数切替スイッチ
7. サーキットブレーカー (プッシュリセット) - 電氣的過負荷から発電機を保護します。
8. 並列運転コンセント-2台のインバーターを並列接続し、出力を増加させるために使用します。(並列キットは別売/米国のみ)。
9. 接地端子 - 地域の接地規制については、電気技術者にご相談ください。
10. LEDライト

レセプタクル

A		DC12V、8A (自動車用調整型) DC12V、8Aの電気負荷を操作するための電力を供給するために使用できます。
B		AC100V、20A (5-20R) 4個 AC100V、20A、単相、50/60Hzの電気負荷を操作するための電力を供給するために使用することができます。
C		AC100V、30A (L5-30R) AC100V、30A、単相、50/60Hzの電気負荷を操作するための電力を供給するために使用できます。

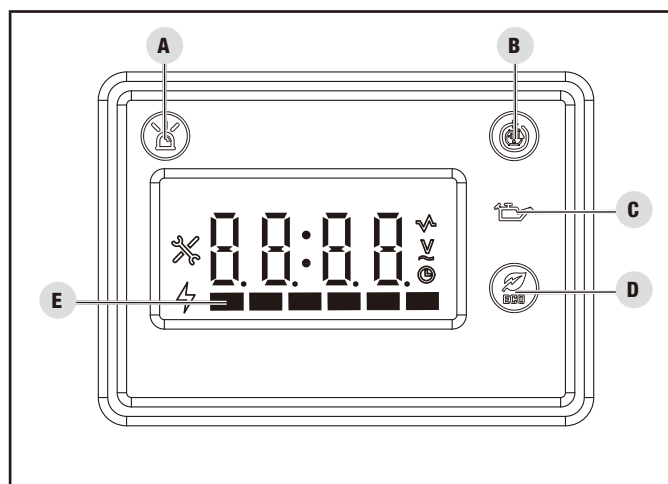
⚠ 警告

デバイスを充電する際は、発電機の排気側に置かないでください。排気による極端な熱は、デバイスを損傷し、火災を引き起こす可能性があります。
エンジンの排気に長時間さらされると、重傷を負ったり死亡したりする可能性があります。

パワーメーター付きインテリゲージ

電圧、周波数(ヘルツ)を表示する5モードのデジタルメーター、
運転時間、総運転時間、出力電力を表示します。

- A. LEDライトボタン
- B. AC過負荷リセットボタン-過負荷故障後、レセプタクルに再通電するために使用します。
- C. オイルレベル低下インジケーター
- D. エコノミーモードボタン - 自動アイドル制御の有効 / 無効を切り替えます。
制御を行います。
- E. パワーメーター

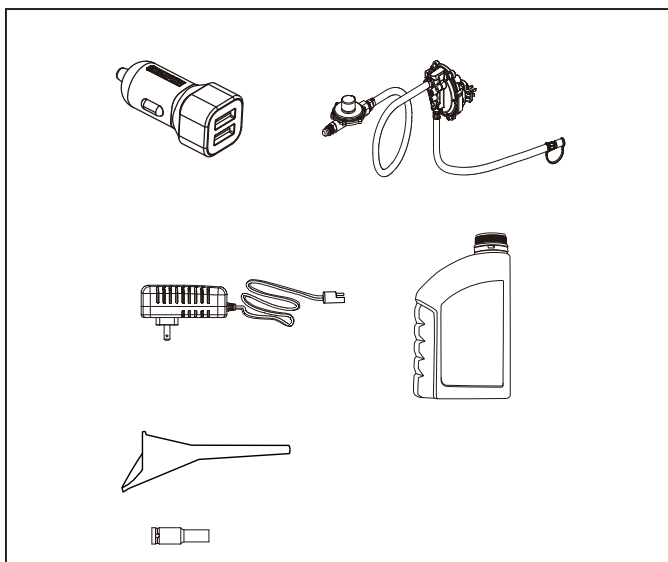


モード		説明	
1	 電圧 (V)	発電機の出電圧	
		例:100ボルト	
2	 周波数 (H)	出力周波数 (ヘルツ)	
		例:60.0ヘルツ	
3	 稼働時間 (R)	現セッションの発電機の稼働時間	
		例:6時間	
4	 総稼働時間	初回運転からの発電機の総運転時間	
		例:16時間	
5	出力	発電機の出力を継続的に表示します。	
		出力電力は、底部に常に表示されます。表示される出力は、発電機に接続された電気負荷に基づいています。出力が増加すると、発電機が過負荷になるまで、より多くの白色LEDライトが表示され、その時点ですべてのLEDライトと稲妻のロゴが1秒間に1回点滅します。	

付属部品

アクセサリ

DC12V USBアダプター	1
圧力調整器付LPGホース	1
エンジンオイル	20.3 fl. oz. (600 ml)
オイル漏斗	1
10mmソケット	1



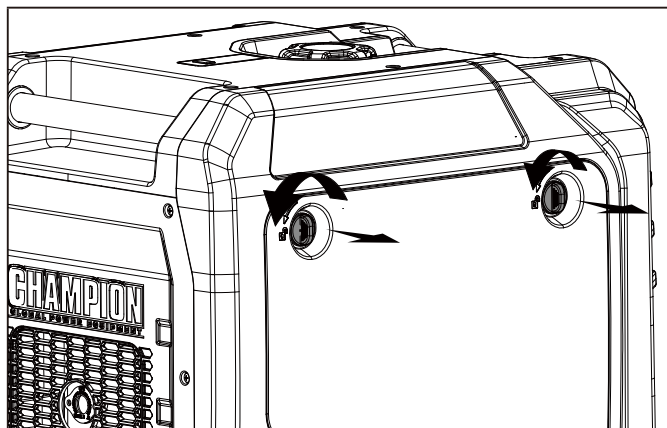
組み立て

発電機は、組み立てが必要です。運転前に、燃料とオイルを適切に整備する必要があります。

発電機の組み立てに関してご不明な点がございましたら、技術サポートまでご連絡ください。シリアル番号とモデル番号をご用意ください。

開梱

1. 出荷用梱包箱をしっかりとした平らな場所に置きます。
2. 発電機本体以外のすべてを箱から取り出します。
3. 本機のフレームを持ち上げて、以下の部品を注意深く取り外します。(2人で持ち上げることを推奨)



2. コネクターカバーを外し、バッテリーコネクター同時に強く押し込みます。

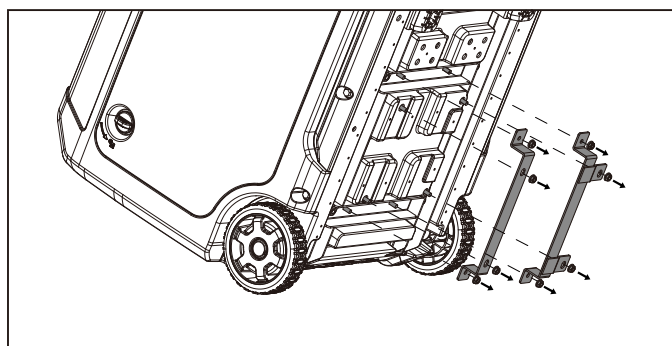
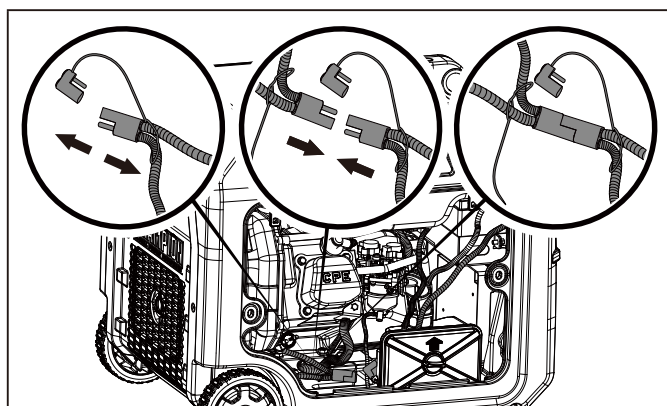
緩衝材の取り外し

輸送中に発電機を保護するため、エンジンとフレームの間にサポート金具が取り付けられています。発電機にオイルやガソリンを入れる前に、この金具を取り外してください。

注意

出荷時のサポート金具を取り外さずに、発電機を運転しないでください。金具を取り外さないことによる発電機の損傷は、保証を無効にします。

1. エンジンにオイルまたはガソリンを充填する前に、発電機をマフラー側に倒してください。
発電機をマフラー側に倒します。発電機が入っていた筐体を傷つけないように、平らにした段ボール箱などの保護面に倒します。
2. 10mmソケット(付属)とドライバー(付属していません)を使用して、発電機の底側から8つのナットと取り付けプレートを取り外します。
ドライバーをソケットの穴に入れ、ソケットを回します。
ソケットを回します。ナットとスペーサーは廃棄できます。



3. 発電機を垂直に戻します。

バッテリーの接続

1. 2つの留め金具を反時計まわりに水平の位置まで回して、メンテナンスカバーを取り外します。

エンジンオイルの追加

警告

推奨される種類と量のオイルが適切に充填される前に、エンジンをクランキングまたは始動しないでください。これらの指示に従わなかった結果、発電機が損傷した場合、保証は無効になります。

注意

発電機のローターには、密封された潤滑済みボールベアリングが搭載されています。ベアリングの寿命まで追加潤滑は不要です。

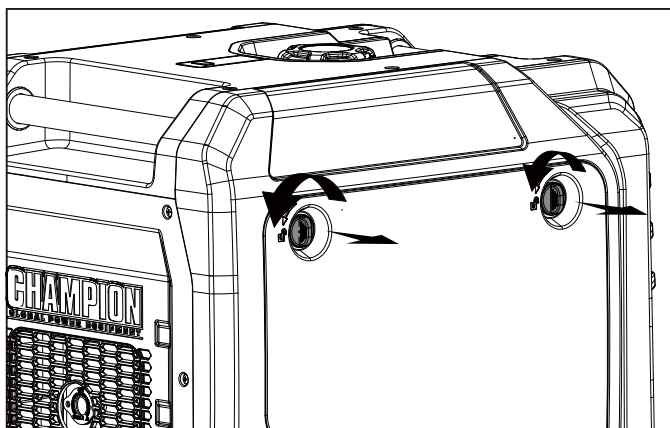
注意

一般的な使用に推奨される油種は自動車用オイル10W-30です。ただし、「推奨エンジンオイルの種類」の表に記載されている従来型オイルを使用することができます。エンジンの慣らし運転期間の最初の5時間を含め、一般的な使用には、「推奨エンジンオイルの種類」表に記載されている従来型オイルを使用することができます。

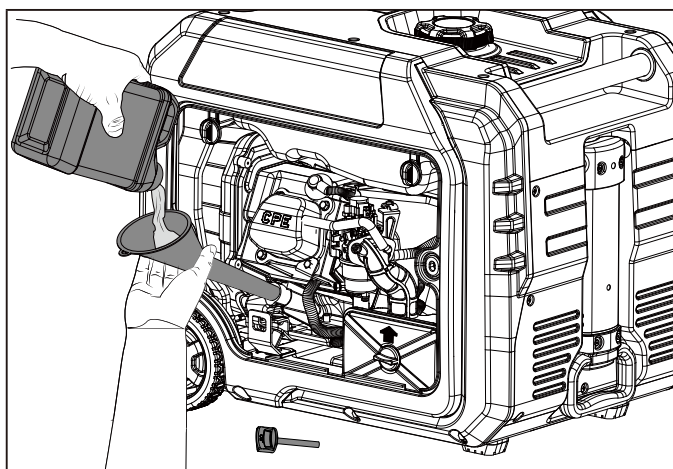
極端な温度で発電機を運転する場合は、「推奨エンジンオイルの種類」の表を参照してください。

推奨エンジンオイルの種類								
		10W-30						
		5W-30			10W-40			
		5W-30 Full Synthetic						
°F	-20	0	20	40	60	80	100	120
°C	-28.9	-17.8	-6.7	4.4	15.6	26.7	37.8	48.9
	周囲温度							

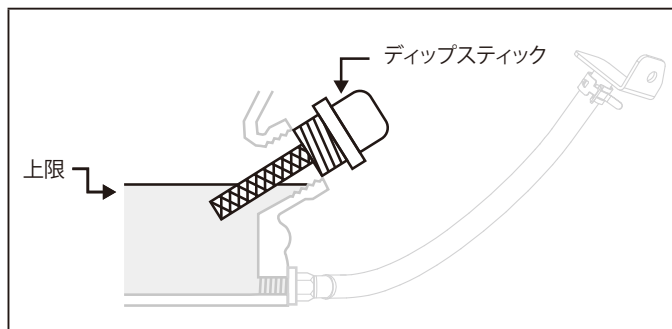
1. 発電機を平らで水平な場所に置きます。
2. メンテナンス・カバーの留め金具をロック解除の位置に回し、カバーを取り外します。



3. オイルフィルキャップ / ディップスティックを取り外してオイルを補充します。
4. 漏斗を使用して、最大 20.3 fl. oz. (600ml) のオイル (付属) を入れます。入れ過ぎないでください。オイルフィルキャップ / ディップスティックを元に戻し、メンテナンスカバーを固定します。



5. 使用前にエンジンオイルのレベルを点検し、必要に応じて補充してください。



注意

オイルを入れた際、目視点検では、オイルが充填穴から1-2目盛ほど余裕があります。ディップスティックを使ってオイルレベルを点検する場合、点検中にディップスティックをねじ込まないでください。

注意

慣らし運転期間中は、オイルレベルを頻繁に点検してください。推奨整備間隔については、「メンテナンス」の章を参照してください。

注意

このエンジンにはオイル低下防止装置が装備されており、クランクケース内のオイルレベルが閾値を下回ると停止します。

注意

最初の5時間はユニットの慣らし運転です。慣らし運転期間中は、定格ワット数の50%以下にとどめ、時々負荷を変化させてスターターの巻線の加熱と冷却を行います。また、負荷を調整することで、エンジン回転数がわずかに変化し、ピストンリングの座りが良くなります。5時間の慣らし運転の後、オイルを交換してください。

注意

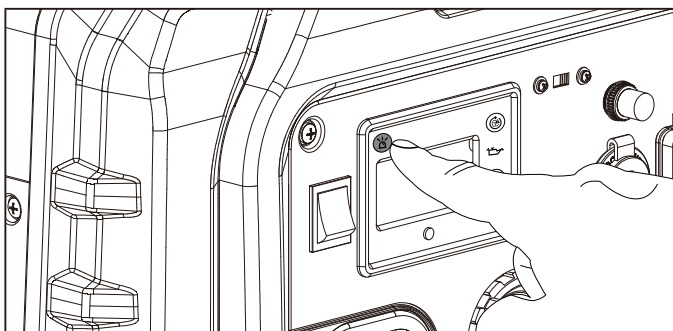
化学合成油は、5時間の初期慣らし運転の後でも使用できます。化学合成油を使用しても、推奨オイル交換間隔は短くなりません。完全合成の5W-30オイルは、周囲温度が5°C未満の寒冷時に始動性を向上させます。

LEDパネル

注意

パネルLEDライトは、発電機がオンになっている場合にのみ動作します。

1. LEDライトのボタンを1回押してオンにします。
2. LEDライトのボタンをもう一度押すと消灯します。



燃料充填アシストLED

注意

燃料充填アシストLEDは、独自の9Vバッテリーで動作するため、点灯するために発電機をオンにする必要はありません。点灯しない場合は、「燃料充填アシストLEDバッテリーの交換」の項を参照してください。

1. カチッと音がするまでライトを押し下げます。ライトは筐体から飛び出すと自動的に点灯します。
2. ライトを筐体に押し下げてオフにし、元の位置にロックします。

燃料の追加: ガソリン

危険

ガソリンの蒸気は非常に可燃性が高く、非常に爆発しやすい性質を持っています。

タバコに火をつけたり、吸ったりしないでください。火災や爆発により重度の火傷または死亡事故を引き起こす恐れがあります。

燃料の充填や排出は、屋外の換気の良い場所で行ってください。発電機に直接ガソリンを入れしないでください。

燃料をジェネレータに移すには、認可された容器を使用してください。

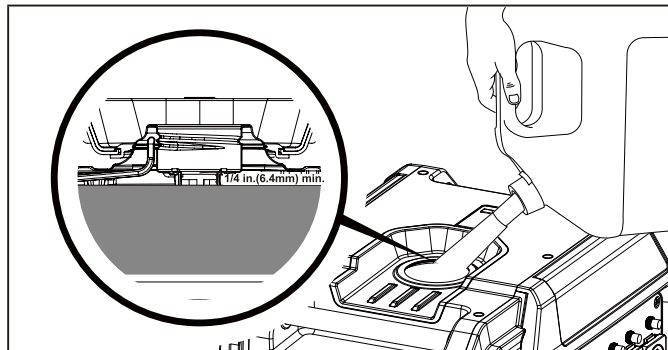
破損、切断、引き裂き、損傷があるガソリン容器、ガソリンタンク、その他の燃料タンクは、絶対に使用しないでください。ガソリンタンクに燃料を入れ過ぎないでください。燃料は常に火花、裸火、種火、熱源、その他の着火源から燃料を遠ざけてください。

オクタン価が87以上で、エタノールの含有量が容積比10%以下の、きれいで新しい無鉛レギュラーガソリンを使用してください。

ガソリンにオイルを混ぜないでください。

1. ガソリンキャップを外します。
2. タンクにゆっくりとガソリンを入れます。ガソリンが画面上の赤丸に達すれば満タンです。ガソリンを入れ過ぎないでください。
ガソリンは膨張するため、タンク内に最低 6.4 mm以上空けることを推奨します。

ガソリンを入れ過ぎると、膨張の結果ガソリンがタンクから押し出され、発電機の安定した運転状態に影響を与える可能性があります。



3. ガソリンキャップを締め、こぼれた燃料を拭き取ります。

注意

オクタン価87以上の無鉛ガソリンを使用してください。エタノールの含有量が10%以下の無鉛ガソリンを使用してください。

ガソリンを入れる時にタバコに火をつけたり、タバコを吸ったりしないでください。

オイルとガソリンを混ぜないでください。

タンクを満タンにし過ぎないでください。

ガソリンを膨張するため、タンク上端から約6.4mm下の位置まで給油してください。

ポンプで直接発電機にガソリンを注入しないでください。

ガソリンを発電機に移すには、認可された燃料容器を使用してください。

室内でガソリンを充填しないでください。

エンジンが作動中または高温の状態ではタンクにガソリンを入れないでください。

警告

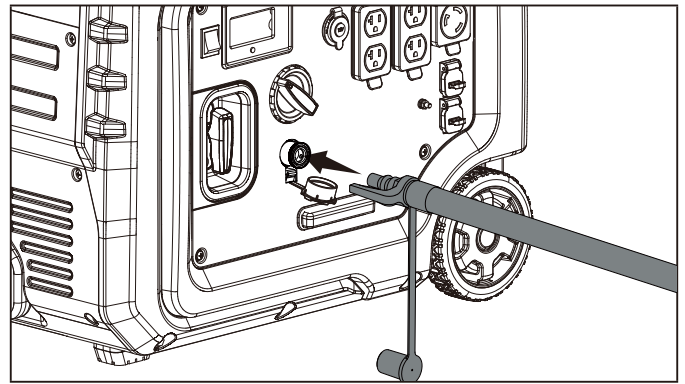
燃料スクリーンを通してガソリンを注ぐ速度が速すぎると、発電機と作業者にガソリンが飛び散る恐れがあります。

注意

発電機エンジンは、10%以下のエタノール混合ガソリンで十分に機能します。エタノールとガソリンの混合ガソリンを使用する場合、注意すべき問題がいくつかあります：

- ・エタノールとガソリンの混合物は、ガソリン単独よりも多くの水を吸収します。
- ・これらのエタノール混合物は最終的に分離し、タンク、燃料バルブ、キャブレターに水や粘着質の液体を残す可能性があります。その場合、汚染されたガソリンがキャブレターに吸い込まれ、エンジンに損傷を与えたり、危険な状態を引き起こしたりする恐れがあります。
- ・燃料安定剤を使用する場合は、それがエタノール-ガソリン混合燃料に対応するように調合されていることを確認してください。
- ・体積比10%以上のエタノール混合ガソリン、不適切な保管状態のガソリン、不適切に調合された安定剤の使用による損傷や危険は、メーカーの保証対象外です。

使用後は必ずガソリンの供給を止め、エンジンを空ぶかしすることをお勧めします。長期間使用しない場合は、保管上の注意を参照してください。



7. 石けんと水の溶液でフィッティングを濡らし、すべての接続部に漏れがないかチェックします。気泡が現れたり、気泡が大きくなったりした場合は、漏れがあることを示しています。継手に漏れがある場合は、ポンベのバルブを止め、継手を締めます。バルブを再びオンにし、石けん水溶液でフィッティングを再チェックしてください。漏れが続く場合、または漏れているが箇所が不明な場合は発電機を使用せず、技術サポートにご連絡ください。

燃料の追加：プロパン (LPG)**危険**

エンジン運転中、LPG (液化石油ガス) コネクタホースやLPGボンベタンクを、発電機のマフラー排気ガスの流れの中に絶対に置かないでください。

LPGボンベの接続

1. EZスタートダイヤルがOFFの位置にあることを確認します。
2. 新しいプロパンボンベを使用する場合は、ボンベのバルブからプラスチックキャップを取り外します。
3. LPG ホースアセンブリー (付属品) をプロパンボンベのバルブに取り付け、ぴったりするまで手で締めます。締めすぎないでください。
4. インバーターのプロパン接続ポートを覆っているゴム製カバーを取り外します。
5. LPGホースアセンブリーのオスホースフィッティングのプラスチックのつまみを、インバーターのメスのクイックコネクタカップリングの隣のスロットに合わせます。
6. ホースフィッティングをクイックコネクタカップリングに挿入し、「カチッ」と音がしてクイックコネクタカップリングの外側のカラーが前方に移動するまで押し込んでください。

注意

8. 本機に付属のLPGホースは、標準的なLPGボンベに対応します。
9. ボンベの再検査日が過ぎていないことを確認します。
10. すべての新しいボンベは、充填前に空気と湿気を抜く必要があります。栓をしていない、または閉じたままになっている使用済みボンベもパージする必要があります。
11. パージはLPG供給業者が行ってください。
12. (交換業者から提供されたボンベは既にパージされ、適切に充填されているはずですが)。
13. ボンベバルブと発電機インレット間の接続が、LPGホースに鋭い曲がりやよじれを生じさせないように、常にボンベを配置してください。

注意

子供がLPGボンベやホースの接続部をいじったり、遊んだりしないようにしてください。

▲ 注意

OPD (過充填防止装置) バルブが装備された承認済みのLPGボンベを使用してください。ボンベは必ずバルブを上にして垂直にし、平らな場所に設置してください。ボンベは熱源の近くに設置せず、日光、雨、ほこりにさらさないでください。輸送や保管の際は、ボンベのバルブと発電機のLPGバルブをオフにし、ボンベを取り外します。通常、プラスチック製の保護キャップがある場合は、コンセントを塞いでください。ボンベは熱から遠ざけ、車内では換気してください。

▲ 警告

LPGの強い臭いがする場合：ボンベのバルブを閉じてください。石鹼と水の溶液でフィッティングを濡らし、すべての接続部に漏れがないか確認します。泡が出たり、泡が大きくなった場合は、漏れがあることを示しています。タバコを吸ったり、火をつけたり、マッチ、裸火、ライターを使用して漏れを確認しないでください。漏れが発見された場合、発電機を使用する前に、LPGシステムを点検・修理する資格を持つ技術者に連絡してください。

接地

感電を防ぐため、発電機は適切なアースに接続する必要があります。

▲ 警告

発電機を適切に接地しないと、感電する恐れがあります。

発電機のフレームには接地端子が設けられています。(端子の位置については、「コントロールと機能」を参照)。遠隔接地の場合、発電機の接地端子と地面に打ち込んだ銅棒の間に太いゲージ (最低12AWG) の銅線を接続します。

地域の電気規範に準拠していることを確認するため、資格を持つ電気技師に相談することを強くお勧めします。

ニュートラルフローティング*

- ニュートラル回路は、発電機のフレーム/グランドに電氣的に接続されていません。
- 発電機 (固定子巻線) は、フレームおよびACレセプタクルのアースピンから絶縁されています。
- 接地されたレセプタクルピン接続を必要とする電気機器は、レセプタクルグランドピンが機能していないと機能しません。

フレームに接着されたニュートラル回路*

- ニュートラル回路は、発電機のフレーム/グランドに電氣的に接続されています。

- ニュートラル回路は、発電機のフレーム/グランドに電氣的に接続されています。発電機システムのアースは、オルタネーター下部のクロスメンバーフレームに接続されています。システムグラウンドはACニュートラルワイヤーに接続されています。

* 指定の接地タイプについては、仕様の項を参照してください。

操作**発電機の設置場所****▲ 警告**

建物、ガレージ、地下室、物置、囲い、または区画の中では、絶対に発電機を操作しないでください。

地下室、狭い場所、物置、囲い、またはコンパートメント内では、絶対に発電機を操作しないでください。レクリエーション用車両の発電機コンパートメントを含みます。

SUV、キャンピングカー、トレーラー、トラックの荷台 (通常の側面、平らな側面、またはその他の構成)、階段の下、吹き抜けの下、壁や建物に隣接した場所など、発電機の適切な冷却が出来ない場所、またはマフラーシステムからの排気の適切な出口を確保できない場所、排気の流れが適切に出ないような場所では絶対に発電機を運転または始動しないでください。

雨や雪などの濡れた天候の下で発電機を運転したり、保管したりしないでください。濡れた状態で発電機を使用すると、感電による重大な人身事故や死亡事故を招く恐れがあります。地域の法令によっては、発電機を建設現場で使用する場合があります。その地域の電力会社への登録が義務付けられている場合があります。また、追加の規則や規制が適用される場合があります。

ご使用の地域の法令をご確認ください。

発電機は常に平らな場所で操作してください。

発電機は、常に (運転中でなくても) 平らで水平な場所で運転する必要があります。

発電機は、すべての可燃物から最低1.5mの空間を確保する必要があります。また、発電機の四方には、最低91.4cmの空間を確保する必要があります。

発電機は必ず換気の良い場所に設置してください。吸気口の近くや、排気ガスが居住空間や密閉された空間に流れ込む恐れのある場所には、絶対に発電機を置かないでください。排気ガスが居住空間や閉め切った空間に流れ込む恐れがあります。

発電機を設置する際は、必ず風や気流を考慮してください。輸送や保管の前には、必ず発電機を適切に冷却してください。

適切な安全予防措置に従わない場合、人身事故や発電機の損傷が発生してもメーカー保証が無効になります。

▲ 警告

運転中、マフラーと排気ガスは高温になります。十分な冷却および呼吸スペースが確保されていない場合、または発電機が塞がれていたり密閉されている場合、温度が非常に高くなり、火災につながる恐れがあります。

▲ 警告

雨にさらしたり、湿気の多い場所で使用しないでください。発電機から1.5m以上離してください。マフラー表面や排気ガスの流れからの熱により、可燃物に引火する恐れがあります。

▲ 警告

雨や湿気の多い場所で使用する必要がある場合は、電気部品を適切に保護してください。

難燃性で、エンジンの排気ガスの流れに適切な換気を提供する安全キャノピーを使用することができます。

サージ保護

コンピューターや多くのプログラマブル可能な電化製品などの電子機器には、狭い電圧範囲で動作するように設計された部品が使用されており、瞬間的な電圧変動の影響を受けることがあります。

電圧変動を防ぐ方法はありませんが、敏感な電子機器を保護するための対策を講じることはできません。

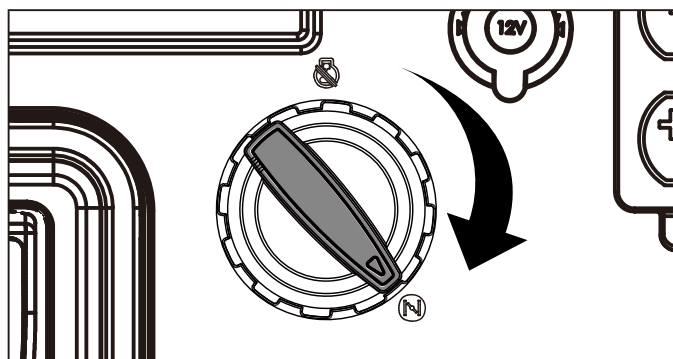
UL1449、CSAの認定を受けたプラグイン・サージ・サプレッサを、精密機器に給電するコンセントに設置します。サージサプレッサには、単一コンセントタイプと複数コンセントタイプがあります。ほぼすべての短時間電圧変動から保護するように設計されています。

エンジンの始動：ガソリン

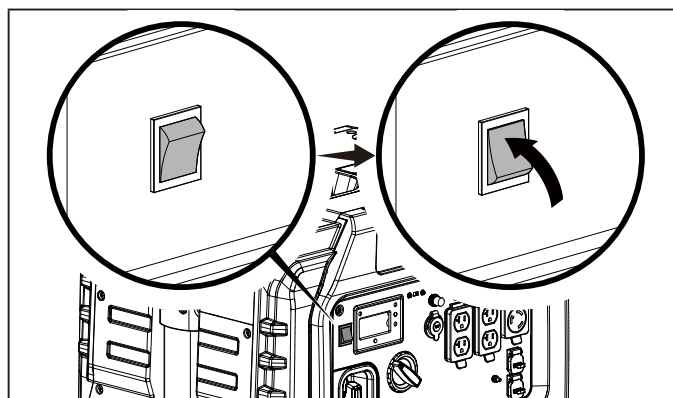
1. 発電機が平らで水平な場所にあることを確認してください。

電気スタート

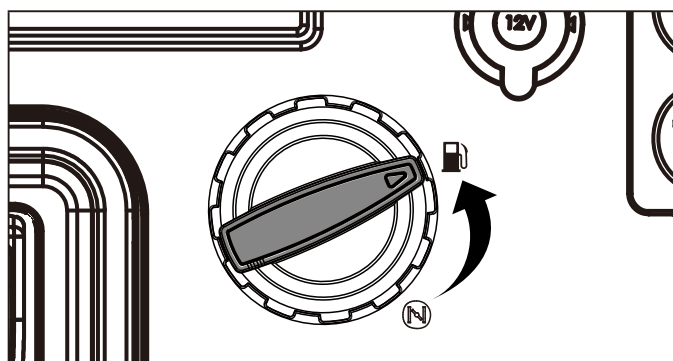
1. 発電機からすべての電気負荷を切り離します。電気機器を接続したまま、または電源を入れたまま、発電機を始動または停止しないでください。
2. EZスタートダイヤルをガソリン「CHOKE」位置に回します。



3. イグニッションスイッチを押し続けてエンジンを始動します。エンジンが始動し始めたら指を放します。エンジンが5秒以内に始動しない場合は、スイッチを放し、少なくとも10秒間待ってから再始動してください。



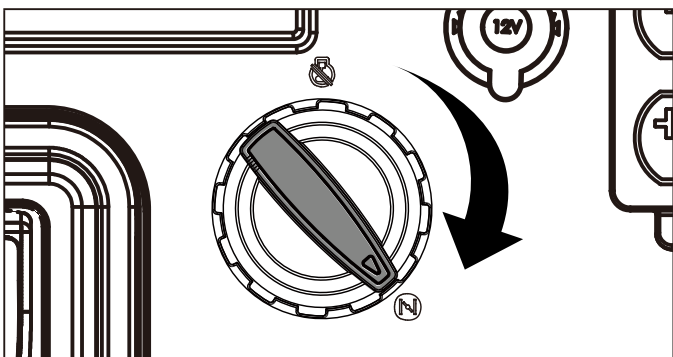
4. チョークのかけすぎに注意してください。エンジンが始動したらすぐに、EZスタートダイヤルをガソリンの「RUN」の位置に回します。

**▲ 注意**

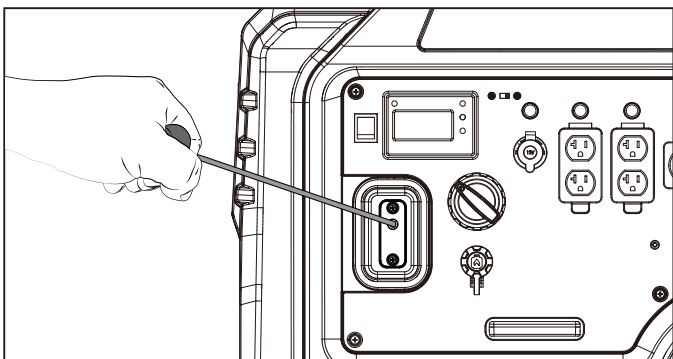
イグニッションスイッチを「START」位置で5秒以上押し続けると、スターターを損傷する恐れがあります。

手動スタート

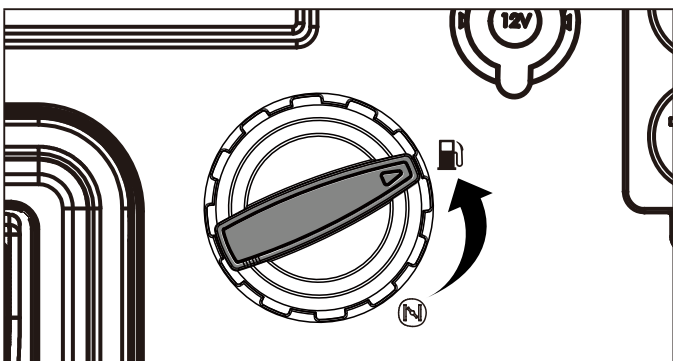
1. 発電機からすべての電気負荷を切り離します。電気機器を接続したまま、または電源を入れたまま、発電機を手動で始動または停止しないでください。
2. EZスタートダイヤルをガソリン「CHOKE」位置に回します。



3. 抵抗が感じられるまでリコイルコードをゆっくり引き、その後急速に引きます。



4. チョークのかけすぎに注意してください。エンジンが始動したらずに、EZスタートダイヤルをガソリンの「RUN」位置に回します。



注意

周囲温度が30°C(86°F)以上の高温下で、エンジンが高温の状態ではガソリンを再始動する場合：EZスタート・ダイヤルを「CHOKE」位置に回し、リコイル・コードを1回だけ引きます。1回引いても発電機が始動しない場合は、次の3回までダイヤルを「RUN」位置に回します。チョークが強すぎるとスパークプラグが汚れ、エンジンがフラットニングします。これによりエンジンが始動しなくなります。

注意

標準的な周囲温度でガソリンを始動する場合：15°C(59°F)以上：EZスタートダイヤルを「CHOKE」位置にし、リコイルコードを3回引きます。3回引いても始動しない場合、EZスタート・ダイヤルを「RUN」位置に回転させ、さらに3回引きます。チョークが強すぎると、スパーク・プラグが汚れたり、エンジンがフラットニングしたりします。これにより、エンジンが始動しなくなります。

注意

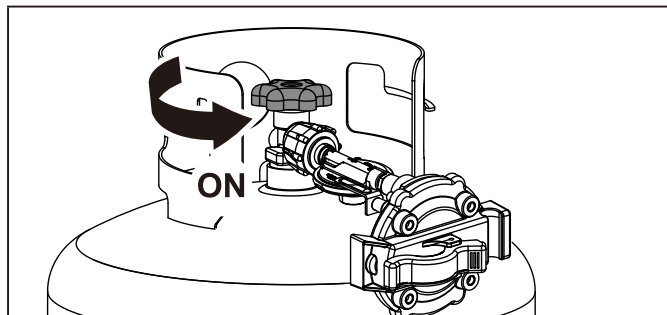
寒冷時のガソリン始動する場合：15°C(59°F)以下：エンジンが始動するまで、EZスタートダイヤルを「CHOKE」の位置に保ちます。エンジンが始動し、スムーズに回転するようになったら、EZスタートダイヤルを「RUN」位置に回します。極寒の場合、数秒かかる場合があります。

注意

エンジンは始動するが作動し続けない場合は、発電機が平らで水平な場所にあることを確認してください。エンジンにはオイル低下センサーが装備されています。オイル・レベルが臨界しきい値を下回ると、エンジンが作動しなくなります。

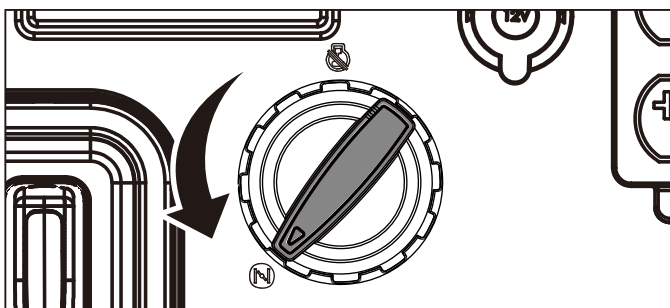
エンジンの始動：プロパン (LPG)

1. 発電機が平らで水平な場所にあることを確認してください。
2. 発電機からすべての電気負荷を切り離します。電気機器を接続したまま、または電源を入れたまま、発電機を始動または停止しないでください。
3. LPGボンベの燃料バルブを全開にします。

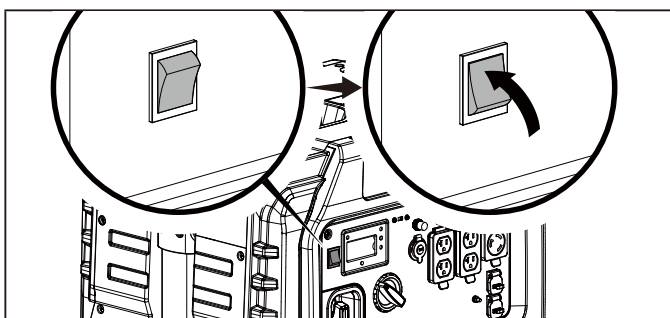


電気スタート

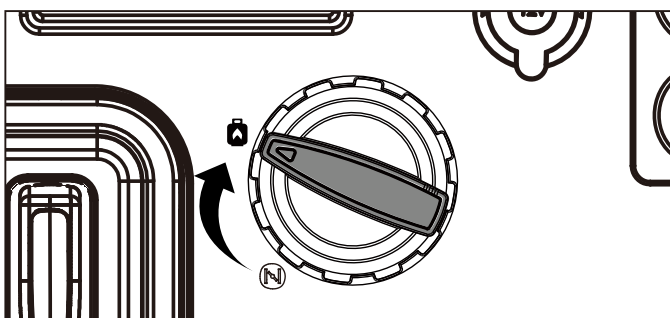
1. EZスタートダイヤルをプロパンの「CHOKE」の位置に回します。



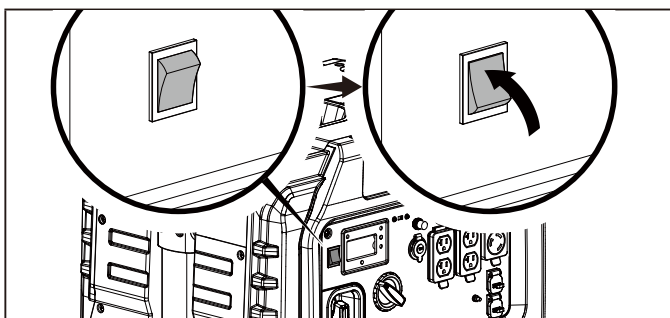
2. イグニッションスイッチを「START」位置で3-5秒間押し続けます。



3. EZスタートダイヤルをプロパンの「RUN」の位置に回します。



4. イグニッションスイッチを「START」で3-5秒間押し続けます。



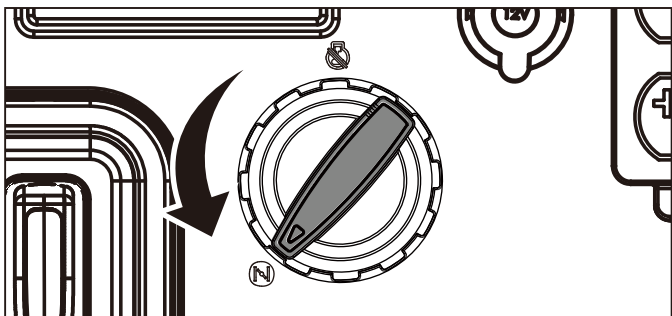
注意

エンジンを5秒以上クランキングすると、エンジンがフラッキングし、始動しなくなります。

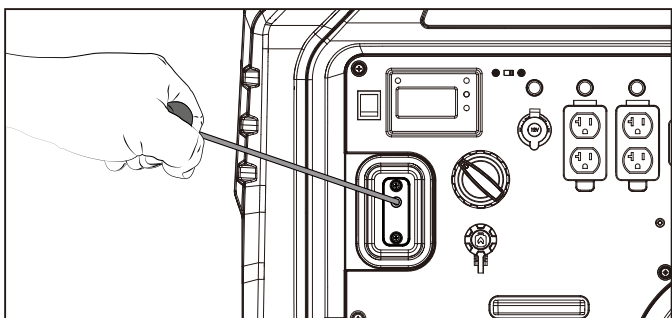
5. エンジンが始動するまで、ステップ1~4を繰り返します。
6. エンジンが始動したら、EZスタートダイヤルがプロパン「CHOKE」位置の場合はプロパン「RUN」ポジションに回します。
7. プラグを差し込みます。

手動スタート

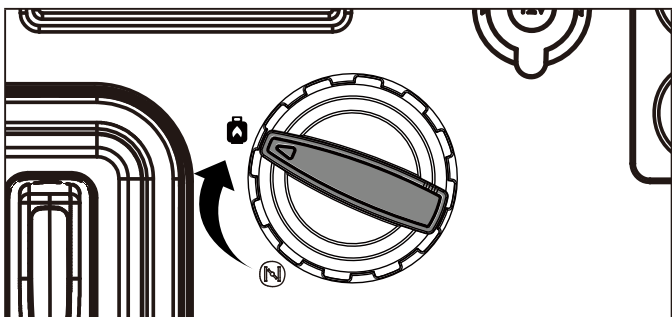
1. EZスタートダイヤルをプロパンの「CHOKE」位置に回します。



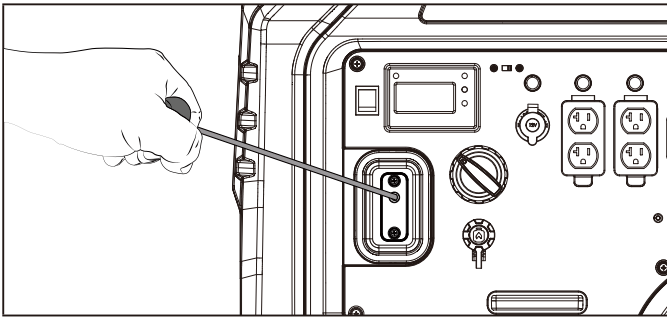
2. プルトゥープライム: リコイルコードをゆっくり引きます。エンジンが瞬間的に始動したことを示す数回の燃焼パルスを感じるまで、100%「CHOKE」で1~3回引きます。



3. チョークを「RUN」の位置に動かします。



4. 抵抗が感じられるまでリコイルコードをゆっくり引き、その後急速に引きます。



5. EZスタートダイヤルを「RUN」位置にして3回引いてもエンジンが始動しない場合は、EZスタートダイヤルを「CHOKE」位置にしてください。

EZスタートダイヤルを「RUN」位置に動かし、「CHOKE」位置に戻し、プルトゥプライムの手順を繰り返します。

注意

LPGボンベと圧力調整器に霜が付くのは運転中よくあることで、通常は問題の兆候ではありません。LPGが気化し、ボンベから発電機エンジンに移動すると、膨張します。

形成される霜の量は、ボンベのサイズ、使用されるLPGの量、空気の湿度、およびその他の運転条件によって影響を受けます。

異常な状況では、この霜が最終的に発電機へのLPGの流れを制限し、性能の悪化を招く可能性があります。たとえば、ボンベの温度が非常に低いレベルまで低下すると、LPGの気化速度も低下し、エンジンへの十分な流量が得られなくなる可能性があります。これは、発電機に問題があるのではなく、ボンベからのLPGの流れに問題があるだけです。発電機の性能が悪化しているようであれば、またタンクバルブ、ホース、または発電機に氷の形成が観察される場合はこの症状をなくすために、何らかの措置を講じる必要があります。

このようなまれな状況では、次のいずれかを行うことで冷却燃料系統の影響を軽減または排除することができます：

- 燃料のボンベを交換して、最初のボンベが暖かくなるのを待ちます。必要に応じて繰り返します。
- ボンベを発電機の末端、ハンドルの近くのエンジンファンの空気が発電機から流出する場所にボンベを配置します。この空気がエンジン上を流れることでわずかに加熱されます。ボンベは、マフラー出口の通り道には置かないでください。
- 温水をボンベ上部にかけることで一時的に温めることができます。

電気負荷の接続

始動後、数分間エンジンを安定させ、暖機させてから始動します。

希望するAC100ボルト単相、50/60 Hzの電気負荷にプラグを接続し、電源を入れます。

- 発電機に3相負荷を接続しないでください。

- 発電機に過負荷をかけないでください。
- 高品質で絶縁された、互換性のある(3線式または4線式)接地コードセットのみを使用し、接続するレセプタクルと同等かそれ以上の定格(ボルトとアンペア)にしてください。

警告

発電機の電源コードをコンセントに差し込んだり、家庭内のブレーカーパネルに接続したりしないでください。

発電機を自宅の電力会社の送電線に接続したり、別の電源に接続したりすることは、「逆潮流」と呼ばれ、多くの地域や自治体で違法とされている危険な行為です。

この操作を誤ると、発電機や電化製品が損傷し、重大な人身事故が発生する恐れがあります。また、近隣で停電が発生し、電力会社の作業員が電力を復旧しようとした際に、不意に電線上の高電圧に遭遇し、致命的なショックを受ける可能性があります。けがの有無にかかわらず、適用される法律や規範に従わずに不適切に設置された場合、罰金や電力会社による停電の対象となることがあります。

このような行為があなたの家庭で発見された場合、電力会社はあなたの家庭の電力を停止する可能性があります。

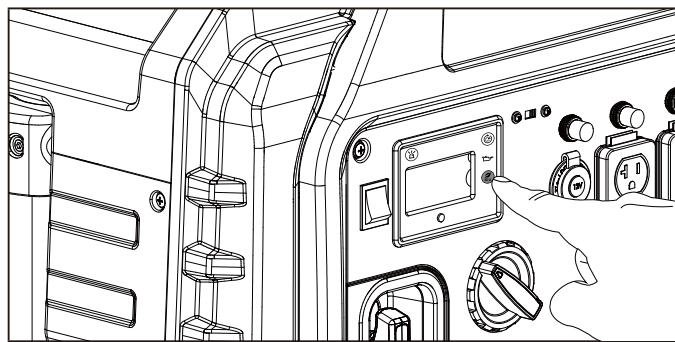
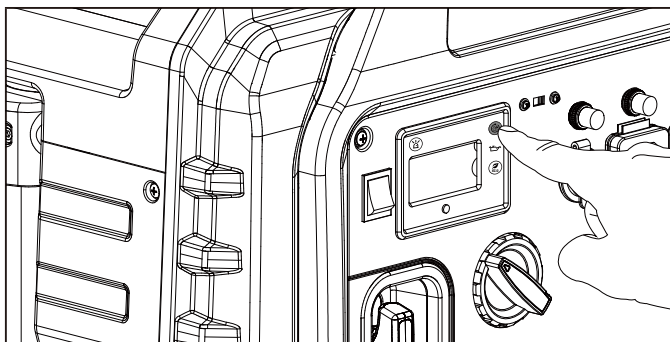
発電機が建物の電気系統に接続される場合、その接続は、発電機の電力を電力会社の電力から分離する必要があります。発電機の電気が電力会社の送電線に逆流しないようにする責任は、発電機使用者にあります。この接続を適切に行うには、最寄りの電力会社または有資格の電気技師にご相談ください。

発電機に過負荷をかけない

容量

以下の簡単な手順に従って、目的に必要な稼働ワットと始動ワットを計算してください：

1. 同時に稼働させる予定の電気機器を選択します。
2. これらの機器の稼働ワットを合計します。これは、機器を稼働させ続けるために必要な電力量です。
3. ステップ1で特定したすべての機器のうち、最も高い始動ワット数を特定します。この数値をステップ2で計算した数値に加えます。始動ワット数とは、電気駆動機器を始動させるために必要な電力サージです。「電力の管理」に記載されているステップに従うことで、一度に1台の機器のみが起動することが保証されます。
4. 発電機の出力が過負荷のために遮断された場合、AC過負荷ランプが点滅します。AC過負荷点滅ライトで示される過負荷状態の場合、1つまたは複数のアイテムのプラグを抜いて負荷を下げ、AC過負荷リセットボタンを押してから、発電機を再始動してください。その後通常運転を継続します。



電力の管理

以下の簡単な手順に従って、目的に必要な稼働ワットと始動ワットを計算してください：

ボルト×アンペア＝ワット

発電機と付属機器を長持ちさせるために、以下の手順に従ってください。以下の手順に従って電気負荷を追加してください：

1. 電気負荷が接続されていない状態で発電機を始動します。
2. エンジンに数分間作動させ、温度が上がるのを待ちます。
3. すべてのサーキットブレーカーが「RUN」の位置に設定されていることを確認します。
4. プラグを差し込み、最初のアイテムの電源を入れます。最も負荷の大きいものを最初に取り付けます。
5. エンジンが安定するのを待ちます。
6. 次のアイテムのプラグを差し込み、オンにします。
7. エンジンが安定するのを待ちます。
8. 追加の各項目について、ステップ5～6を繰り返します。

注意

発電機に負荷を追加する場合は、絶対に指定された容量を超えないようにしてください。

エコ(エコノミー)モード

エコモードボタンを作動させると、エコノミーコントロールがオンになります。エコモードは電気出力が低下している時に、燃料消費と騒音を最小限に抑えるために、使用しない時間帯のエンジン回転数をアイドル状態にします。

電気負荷が接続されると、エンジン速度は通常に戻ります。エコノミー・スイッチがオフの場合、エンジンは通常の回転数で連続運転します。

注意

電気負荷が高い期間や瞬間的な変動がある場合は、エコモードをオフにしてください。

DC12V 車載用安定化コンセント

DC12Vコンセントは、付属のアクセサリや市販のDC12V車載用プラグに使用できます。

ご使用の機器の入力電圧範囲がDC12～24V以上であることをご確認ください。

警告

機器をDC12Vコンセントに接続したまま操作しないでください。機器を充電する際は、発電機の排気側に置かないでください。排気によりデバイスが損傷し、火災の原因になることがあります。

エンジンの排気ガスに長時間さらされると、重傷や死亡の原因になる可能性があります。

バッテリーの充電

1. バッテリー充電ケーブル(別売)を車両に搭載されたバッテリーに接続する前に、バッテリー充電ケーブル(別売)を車両から取り外してください。車両に搭載されているバッテリーに充電ケーブル(別売)を接続する前に、車両バッテリーの接地ケーブルをバッテリーのマイナス(-)端子から外してください。バッテリーのマイナス(-)端子からバッテリーのアースケーブルを外します。
2. バッテリー充電ケーブルを発電機のDC12Vレセプタクルに差し込みます。
3. 赤(+)バッテリー充電器のリード線を赤(+)バッテリー端子に接続します。
4. 黒(-)バッテリー充電器のリード線を黒(-)バッテリー端子に接続します。
5. 発電機を始動します。

重要:DC12Vコンセントは、付属のアクセサリおよび市販のDC12V自動車用プラグにのみ使用できます。発電機に接続する前に、線やプラグの接続を含め、すべての電気機器が良好な状態であることを確認してください。

▲ 警告

バッテリー充電ケーブルが接続され、発電機が作動している間は、車両を始動させないでください。バッテリーに電力が供給されません。また車両または発電機を損傷する恐れがあります。通気性のある湿式鉛蓄電池のみを充電してください。他のタイプのバッテリーは破裂する恐れがあり、人身事故や損傷する恐れがあります。

🗨️ 注意

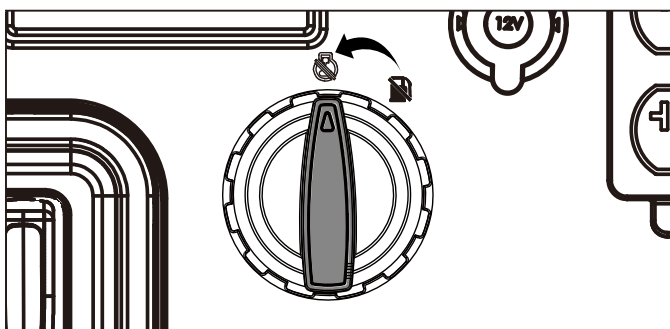
発電機に接続する前に、電線やプラグの接続を含むすべての電気機器が良好な状態であることを確認してください。

並列運転(米国のみ)

Championモデル501003は並列運転に対応しており、他のChampionユニットと並列運転することで、使用可能な総電力を増やすことができます。並列運転には、Champion並列運転キット(オプション)が必要です。本機の推奨機種は100319型です。対応機種のリストやパラレルキットのご注文は、カスタマーサービスまでお電話ください。パラレルキットの設置および接続された発電機の操作に関する詳細な指示は、パラレルキット操作マニュアルに記載されています。

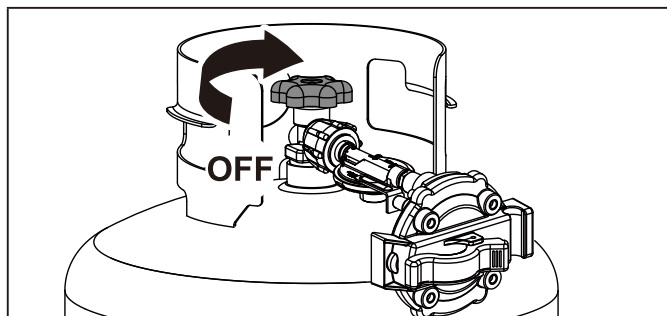
エンジンの停止

1. 接続されているすべての電気負荷をオフにし、プラグを抜きます。電気機器を接続したまま、または電源を入れたまま、発電機を始動または停止しないでください。
2. エンジンと発電機の内部温度を安定させるために、発電機を無負荷で数分間運転します。
3. ガソリンで運転する場合:
 - 3a. EZスタートダイヤルを「OFF」の位置に回します。

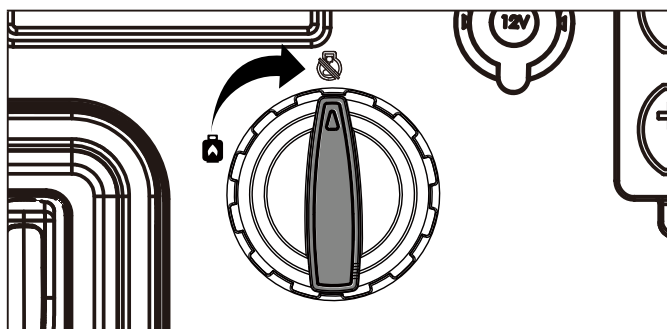


4. プロパン (LPG) で運転する場合:

- 4a. プロパン (LPG) ボンベのバルブを完全に閉めます。プロパンで運転する場合、イグニッションスイッチはエンジンを停止させません。



- 4b. EZスタートダイヤルを「OFF」の位置に回します。



重要: 発電機を使用しないときは、必ずEZスタートダイヤルおよびイグニッションスイッチが「OFF」の位置にあることを確認してください。

🗨️ 注意

エンジンを2週間以上使用しない場合は、適切なエンジンと燃料の保管方法について保管の項を参照してください。

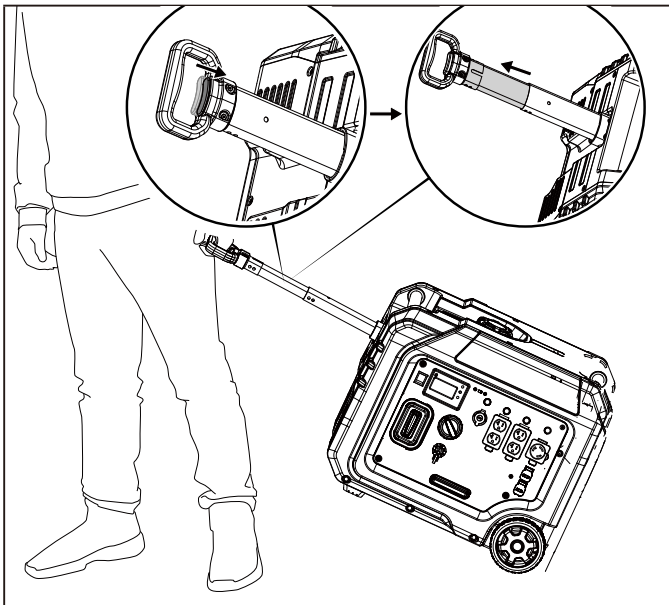
発電機の移動**▲ 注意**

- 折りたたみハンドルを使用して、絶対に発電機を持ち上げたり運んだりしないでください。
- 発電機の移動中は、絶対に横に傾けないでください。
- 発電機は、必ず直立状態でホイールの上に置きます。
- 必ず発電機の電源を切り、燃料バルブが閉じていることを確認してください。
- 発電機を安全に取り扱うために、必ず先にエンジンとマフラーが冷えていることを確認してください。(通常15~30分)

▲ 警告

折りたたみ式ハンドルは、発電機を移動させる際に、持って歩くのに十分な長さがありません。かかとや足の怪我を避けるため、歩くときは横向きに歩いてください。これらの指示に従わないと、人身事故や発電機の損傷につながる恐れがあります。

1. 車輪の反対側にある折りたたみハンドルを持ち上げます。
2. 下図のようにハンドルの内側にあるボタンを押してください。カチッと音がしてハンドルが完全に伸びた位置でロックされるまで、伸縮ハンドルを伸ばします。



3. ハンドルを使用して、車輪でバランスが取れるまで発電機の端を地面からわずかに傾けます。
4. バランスを保ちながら、発電機を目的の場所まで転がします。

高地での操作

高地の空気の密度は、海面よりも低くなります。空気質量と空燃比が低下するため、エンジン出力は低下します。エンジン出力と発電機出力は、海拔300mごとに約3.5%減少します。

高地では、空燃比が濃縮されるため、排気エミッションも増加します。その他の高地での問題としては、始動が難しい、燃料消費量が増える、スパークプラグが汚れるなどがあります。

▲ 警告

推奨される最低高度よりも低い高度で代替メインジェットを使用して運転すると、エンジンに損傷を与える可能性があります。より低い高度で運転する場合は、元々供給されている標準メインジェットを使用する必要があります。指定された高度で誤ったエンジン構成でエンジンを運転すると、排出ガスが増加し、燃料効率と性能が低下する恐れがあります。

発電機が清潔に保たれ、適切に保管されていることを確認してください。

本機は、清潔で乾燥した使用環境の、平らで平坦な場所でのみ操作してください。極端な環境、過度のほこり、汚れ、湿気、腐食性蒸気に本機をさらさないでください。

メンテナンス**▲ 警告**

損傷した発電機や欠陥のある発電機は、絶対に操作しないでください。

▲ 警告

不適切なメンテナンスは、保証を無効にします。

🗨️ 注意

排出ガス規制装置及びシステムについては、本取扱説明書の排出ガス制御保証書に記載されている整備責任を読み、理解してください。

定期整備はすべて所有者／運転者が責任を負います。すべての定期保守を適時に完了してください。

発電機を運転する前に、あらゆる問題を修正してください。

発電機のクリーニング**▲ 注意**

発電機に直接水を吹き付けしないでください。

水は、冷却スロットから発電機に侵入し、発電機の巻線を損傷する可能性があります。また、燃料システムを汚染することもあります。

1. 湿らせた布を使用して、発電機の外面を清掃してください。
2. 柔らかい毛ブラシを使用し、汚れや油を取り除きます。
3. エアコンプレッサー (25PSI) を使用して、発電機から汚れやゴミを取り除きます。

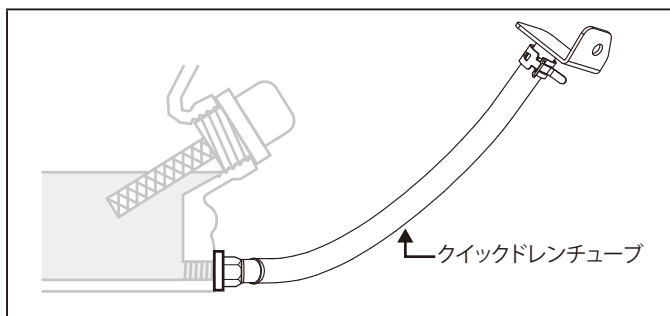
- すべての通気孔と冷却スロットを点検し、汚れがなく、妨げられていないことを確かめます。

誤って始動するのを防ぐため、整備を行う前にスパークプラグワイヤーを取り外し、接地してください。

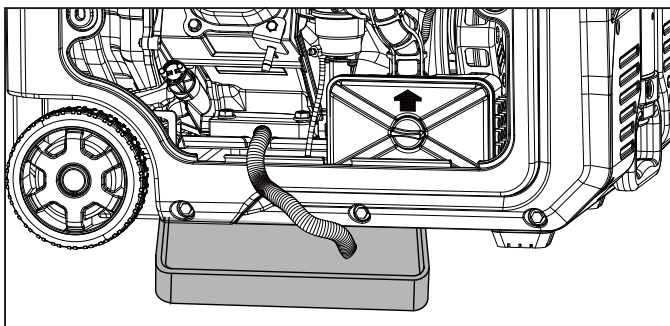
エンジンオイルの交換

オイルの交換はエンジンが温まってから行ってください。オイルの仕様を参照して、使用環境に適したグレードを選択してください。

- 発電機を平らな場所に置きます。
- メンテナンスカバーの留め具をロック解除の位置にし、カバーを取り外します。
- オイルフィルキャップ/ディップスティックを取り外します。
- プライヤーを使ってスプリングクランプをオールドレンホースの下にスライドさせ、ホースをプラグブラケットから引き抜きます。



- ホースをドレンパンに向け、オイルを完全に排出させます。
注記: ホースの端は、オイルが排出されるようにエンジンベースより低くなければなりません。



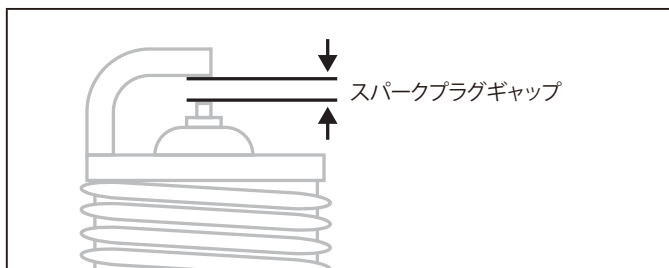
- オールドレンホースを差し込み金具に取り付け、スプリングクランプをスライドさせて所定の位置に戻します。
- 「組み立て」セクションの「エンジンオイルの追加」に従ってオイルを追加します。
メンテナンスカバーを再び取り付け、つまみをロック位置まで回します。オイルを入れすぎないでください。日常整備用のオイルは含まれていません。
- 使用済みオイルは、承認された廃棄物管理施設に廃棄してください。

注意

オイルを入れたら目視で確認し、オイルが充填穴から1~2目盛りほど余裕があることを確認してください。オイルレベルを点検するためにオイルスティックを使用する場合、オイルスティックをねじ込まないでください。

スパークプラグの清掃と調整

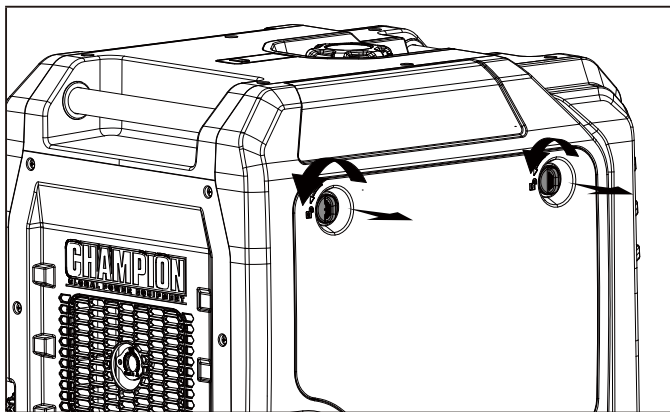
- メンテナンスカバーのつまみをロック解除位置に回し、カバーを取り外します。
- スパークプラグからスパークプラグケーブルを取り外します。
- スパークプラグソケットツール、または13/16インチ(21 mm)ソケットを使用してプラグを取り外します。
- プラグの電極を点検します。点火に必要な火花を発生させるには、電極がきれいで磨耗していない必要があります。
- スパークプラグのギャップが0.022-0.026インチ(0.55-0.65 mm)であることを確認してください。



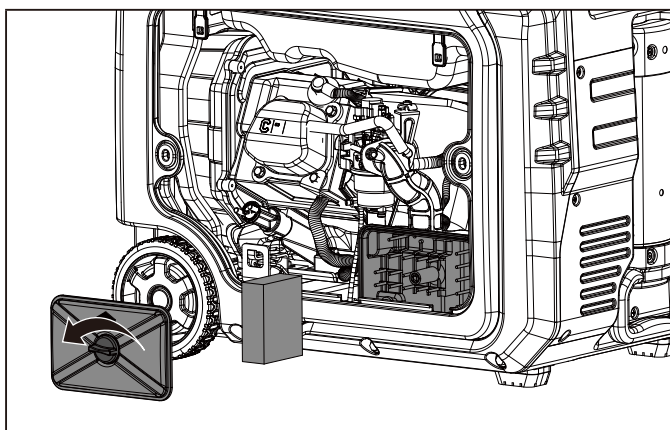
- プラグを交換する際は「仕様」のスパークプラグの種類を参照してください。
- プラグをしっかりと再度取り付けます。
- スパークプラグケーブルをスパークプラグに取り付けます。
- メンテナンスカバーを再び取り付けます。

エアフィルターの清掃

- メンテナンスカバーの留め金具をロック解除位置に回し、カバーを取り外します。



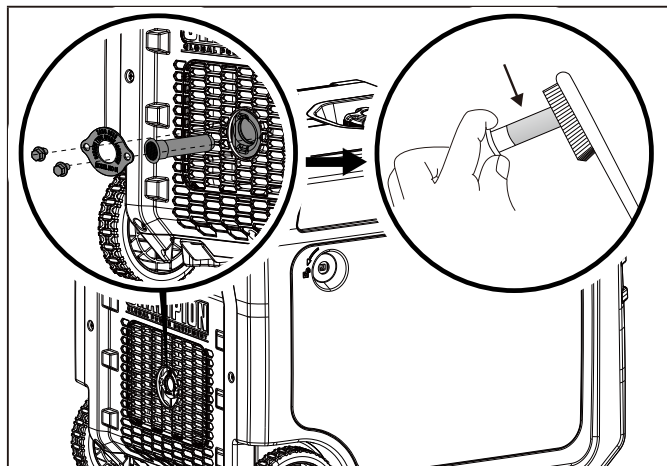
- エアフィルタープラスチックカバーの留め具を反時計回りに回して外し、カバーを引き抜きます。



- フォームエレメントを取り除きます。
- 液体洗剤と水で洗います。清潔な布で水分を十分に拭き取ります。
- きれいなエンジンオイルに浸します。
- 清潔な布で余分なオイルを拭き取ります。
- フィルターをアセンブリにセットします。
- エアフィルターカバーを再び取り付けます。
- メンテナンスカバーを再び取り付け、留め金具をロック位置まで回します。

スパークアレスタの清掃

- スパークアレスタを整備する前に、エンジンが完全に冷えていることを確認してください。
- スパークアレスタをマフラーに固定しているカバープレートを押めているネジ2個を取り外します。
- スパークアレスタを取り外します。
- スパークアレスタから付着したカーボンをワイヤーブラシで慎重に取り除きます。ワイヤーブラシを使用します。



- スパークアレスタが損傷している場合は、交換してください。
- マフラーにスパークアレスタとカバープレートを取り付け、手順2で取り外したネジで取り付けます。手順2で取り外したネジで取り付けます。

▲ 注意

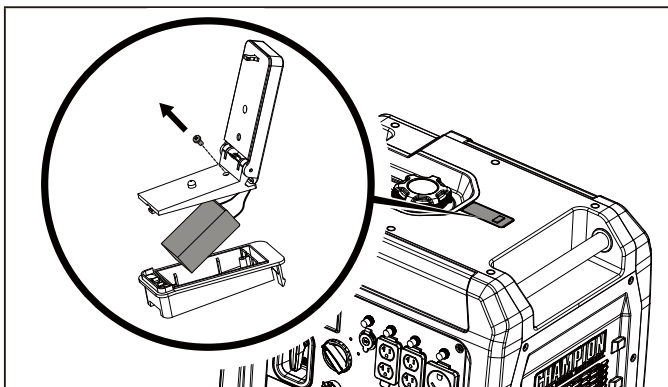
スパークアレスタの清掃を怠ると、エンジン性能の低下につながります。

🗨️ 注意

スパークアレスタが必要な場合および場所については、地方自治体の法律ならびに行政上の要件が示されています。使用する前に確認し、法令に従ってご使用ください。

燃料充填アシストLEDバッテリーの交換

- 発電機がオフで、EZスタートダイヤルが「OFF」の位置にあることを確認します。
- カチッと音がするまで燃料ランプを押し下げると、ランプが飛び出します。
- 下図のようにネジを取り外し、バッテリーが飛び出さないように支えながら、ライトをベースから引き離します。バッテリーコネクターワイヤーに張力がかからないようにバッテリーを支えながら、ライトをベースから引き離してください。



4. バッテリーコネクタからバッテリーを取り外し、新しい9Vバッテリーと交換します。
5. バッテリーのコネクタワイヤーがバッテリーコンパートメント内に完全に収納され、アセンブリの上部とベースの間に挟まれていないことを確認します。アセンブリを再度組み立て、手順3で外したネジを取り付けます。

ガバナーの調整

▲ 警告

工場出荷時に設定されているガバナーに手を加えると、保証が無効になります。

混合気は調整できません。ガバナーに手を加えると、発電機や電気機器に損傷を与え、保証が無効になります。その他のサービスおよび/または調整が必要な場合は、専門業者にご連絡ください。

発電機バッテリー

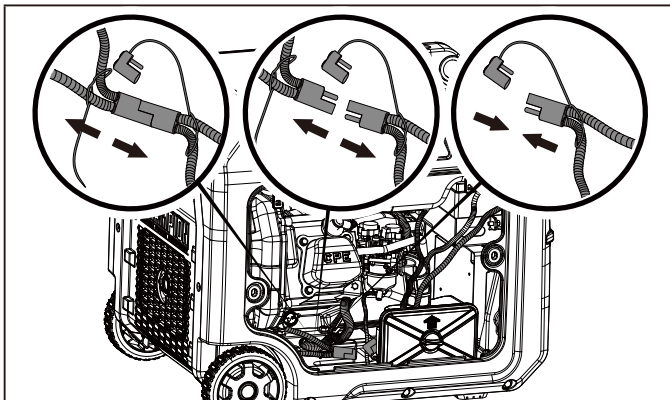
発電機には、エンジンの運転中にバッテリーを充電する自動バッテリー充電回路が装備されています。

本機を定期的(2週間に1回程度)に使用すれば、バッテリーは適切な充電状態を維持できます。使用頻度が低い場合は、バッテリーをトリクル充電器またはバッテリーメンテナー(付属していません)に接続し、バッテリーを適切に充電しておく必要があります。

最大充電率は1.5アンペアを超えないようにしてください。バッテリー充電器に付属の説明書に従ってください。バッテリーは少なくとも月に1回は完全に充電する必要があります。バッテリーがエンジンを始動できない場合は、手動でエンジンを始動できます。バッテリー電圧が極端に低下している場合は、充電回路がバッテリーを再充電できない場合があります。この場合、バッテリーを標準的な自動車用バッテリー充電器に接続して再充電する必要があります。

バッテリーの取り外し

1. バッテリーコネクタの半分を引き抜き、コネクタカバーを元に戻します。



バッテリーの充電

電気始動用のバッテリーを装備した発電機の場合、適切なバッテリーのメンテナンスと保管に従う必要があります。発電機が保管されている間は、トリクル充電器またはバッテリーメンテナーを使用してバッテリーを充電してください。最大充電率は1.5アンペアを超えないようにしてください。トリクル充電器またはバッテリーメンテナーに付属している説明書に従ってください。バッテリーは満充電にする必要があります。

メンテナンススケジュール

以下のメンテナンススケジュールに記載されている整備間隔に従ってください。悪条件下で運転する場合は、より頻繁に整備してください。

8時間ごと、または使用前

- オイルレベルの点検
- 吸気口とマフラー周辺の清掃
- プロパン(LPG)ホースの漏れ点検

最初の5時間(慣らし運転)

- オイル交換

50時間ごと、または毎年

- エアフィルターの清掃
- 高負荷または高温環境下で運転する場合は、オイルを交換する。

100時間ごと、または毎年

- オイル交換
- スパークプラグの清掃 / 調整
- バルブクリアランスの点検 / 調整*
- スパークアレスタの清掃
- 燃料バルブフィルターの清掃*

250時間ごと

- 燃焼室の清掃*
- バルブクリアランスの点検・調整*

3年ごと

- 燃料ラインの交換*
- LPGホースの交換

*知識、経験豊富なオーナーまたは専門の技術者が行ってください。

保管**▲ 警告**

発電機の保管期間中、偶発的または意図しない点火を避けるため、以下の注意事項に従ってください：

- 発電機を保管する際は、EZスタート・ダイヤルが「OFF」の位置に設定されていることを確認してください。

🗨️ 注意

以下の保管方法は、発電機の運転にガソリンを使用した場合に適用されます。

注：LPGは適用されず、堆積物を作ったり、キャブレターを詰まらせたりしません。

LPGの保管

適切な保管のために、必ず発電機からLPGホースを外し、LPGタンクの電源を切ってください。

保管場所から取り出したら、発電機を使用する前に、石鹼と水の溶液で継手を濡らし、LPG継手とホースラインに漏れがないか点検します。気泡が生じた場合は、漏れがあることを示しています。その場合は発電機を使用しないでください。漏れが発見された場合、LPGシステムの点検と修理を行う資格のある技術者に連絡してください。

短期保管 (最大30日間)

ガソリンタンク内のエタノール混合ガソリンは、適切に調合された燃料安定剤を添加し、涼しく乾燥した場所に保管した場合、最大1年間の貯蔵寿命があります。しかし、キャブレター内のガソリンは、2～4週間以内に使用または排出されなければ、粘着質な物質が付着してキャブレターを詰まらせることがあります。

2週間以内に発電機を使用する場合は、「エンジンの停止」の項に従った手順に従ってください。

1. 発電機を2～4週間使用しない場合、まず、すべての電化製品が発電機から切り離されていることを確認します。
2. 「エンジンの始動」セクションの指示に従って発電機を始動します。
3. EZスタートダイヤルを「GASOLINE VALVE OFF」の位置に回します。
4. エンジン停止後、EZスタートダイヤルを反時計回りに回し、「STOP」の位置にします。反時計回りに「STOP」の位置まで回します。

中期保管 (30日～1年)

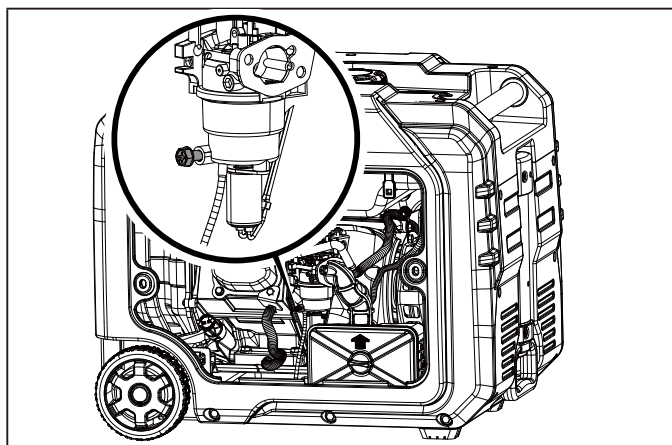
タンク内のエタノール混合ガソリンは、適切に調合された燃料安定剤を添加し、涼しく乾燥した場所に保管することで、最大1年間の貯蔵寿命があります。燃料安定剤を添加し、涼しく乾燥した場所で保管してください。

1. すべての電化製品が発電機から切り離されていることを確認します。
2. 適切な燃料安定剤をガソリンタンクに加えます。
3. 「エンジンの始動」の項の指示に従ってエンジンを始動します。
4. 発電機を10分間運転し、処理済みガソリン燃料系統とキャブレターを循環させます。
5. EZスタートダイヤルを「GASOLINE VALVE OFF」の位置に回します。
6. 燃料が枯渇してエンジンが停止するまで、エンジンを回転させます。
7. エンジンが停止したら、EZスタートダイヤルを「STOP」位置まで回します。
8. 燃料がなくなり、エンジンが停止した後、エンジンを冷却します。
9. メンテナンスカバーを取り外します。
10. スパークプラグを外し、大さじ1杯程度のオイルをシリンダー内に注入します。
11. リコイルをゆっくり引いてエンジンを回転させ、シリンダーに注油します。
12. スパークプラグとスパークプラグワイヤーを再度取り付けます。
13. メンテナンスカバーを再び取り付けます。
14. 「発電機の清掃」手順に従って発電機を清掃します。
15. 発電機を直射日光の当たらない、涼しく乾燥した場所に保します。

長期保管(1年以上)

1年以上保管する場合は、ガソリンタンクとキャブレターのガソリンを完全に抜いてください。

1. すべての電気器具が発電機から取り外されていることを確認します。
2. インバーターをブロック等の上に置き、適切なガソリン容器または皿がインバータの下に滑るようにします。
3. メンテナンスカバーを取り外します。
4. EZスタートダイヤルを時計回りに回し、「RUN」位置までいっぱいに戻してください。
5. プラスドライバー(付属していません)を使用して、ドレンネジを反時計回りに3回転させます。ガソリンがインバータの下から透明なチューブを通して排出されます。必ずガソリンは適切な容器に排出されることを確認してください。



6. 透明なチューブからガソリンが流れなくなったら、ドレンネジを締まるまで時計回りに回します。排出されたガソリンは、地域の規制またはガイドラインに従って適切に処分してください。
7. EZスタートダイヤルを「STOP」位置に戻します。
8. 中間貯蔵に従って、手順 9-15 に従ってください。

保管場所からの取り出し

注意

エタノール混合ガソリンをガソリン・タンクやキャブレターに入れたまま、30日以上不適切に保管された場合、燃料をすべて抜き取り、キャブレターに付着したエタノールを完全に除去する必要があります。

この作業は、技術的に高度な作業を伴います。詳しくは専門業者までご連絡ください。

発電機が保管される前に、ガソリンタンクとキャブレターからエタノールが混合されたガソリンがすべて適切に空にされている場合、保管場所から取り出す際は、以下の手順に従ってください。

1. EZスタートダイヤルが「STOP」の位置にあることを確認してください。
2. 「燃料の追加」に従って発電機にガソリンを追加します。
3. EZスタートダイヤルを「RUN」の位置に動かします。
4. 4~5分後、キャブレターとエアフィルターからガソリンが漏れていないか確認します。漏れが見つかった場合は、キャブレターを分解し、清掃または交換する必要があります。もしガソリン漏れがなければ、EZスタートダイヤルを「STOP」位置まで回します。
5. エンジンオイルレベルを点検し、必要ならきれいな新しいオイルを補充する。適切なオイルの種類については、「オイルの仕様」を参照してください。
6. エアフィルターを点検し、虫やクモの巣などの障害物を取り除きます。必要であれば、「エアフィルターの清掃」に従ってエアフィルターを清掃します。
7. 「エンジンの始動」に従って発電機を始動します。

仕様

発電機の仕様

発電機モデル.....	501003-J
始動タイプ.....	電気、手動
ワット数(ガソリン)(始動/稼働)....	4150/3800
ワット数(LPG)(始動/稼働).....	4150/3420
AC電圧.....	100V
ACアンペア.....	38A
DC電圧.....	12V
DCアンペア.....	8A
周波数.....	50/60 Hz
相数.....	単相
接地タイプ.....	ニュートラルフローティング
重量.....	119.7 lb. (54.3 kg)
長さ.....	24.6 in. (62.5 cm)
幅.....	19 in. (48.3 cm)
高さ.....	20.9 in. (53 cm)

エンジンの仕様

排気量.....	224 cc
タイプ.....	4ストロークOHV

スパークプラグ

OEMタイプ.....	F7RTC
交換タイプ.....	NGK BPR7ES または同等品
ギャップ.....	0.022-0.026 in. (0.55-0.65 mm)

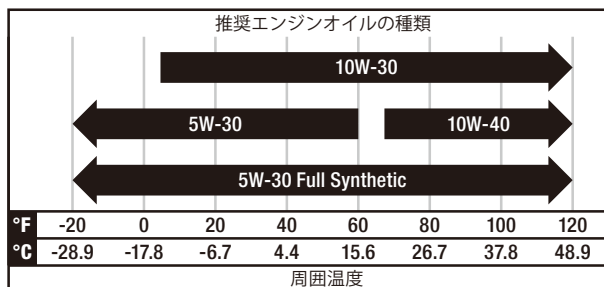
バルブ

吸気クリアランス..	0.005-0.007 in. (0.13-0.17 mm)
排気クリアランス..	0.007-0.009 in. (0.18-0.22 mm)

オイルの仕様

オイルを入れすぎないでください。

タイプ.....	*以下の表を参照
容量.....	20.3 fl. oz. (600 ml)



注意

温度は、エンジンオイルとエンジン性能に影響します。「推奨エンジンオイルタイプ」の表に示されている温度に基づいて、使用するエンジンオイルの種類を変更してください。

燃料の仕様

オクタン価87以上の無鉛ガソリンを使用し、エタノールの含有量が容積比が10%以下であること。E15またはE85は使用しないでください。ガソリンを入れ過ぎないでください。

ガソリン容量..... 4.7 gal. (17.8 L)

プロパン (LPG)

OPD (過充填防止装置) バルブが装備された認可されたLPGボンベのみを使用してください。

バッテリーの仕様

タイプ.....	充電式、非漏洩性鉛蓄電池
DC電圧.....	12V
容量.....	9 A

温度仕様

開始温度範囲..... 5~104(°F) / -15~40(°C)

注意

温度に関する重要なメッセージ:本製品は、40°C (104°F)までの周囲温度で連続運転できるように設計され、定格されています。必要に応じて、短時間であれば-15°C (5°F)から50°C (122°F)までの温度で使用することができます。保管中にこの範囲外の温度にさらされた場合は、運転前にこの範囲内に戻してください。いずれにせよ、本製品は、必ず屋外の風通しの良い場所で、ドア、窓、換気口などから離して使用してください。

図A 部品図

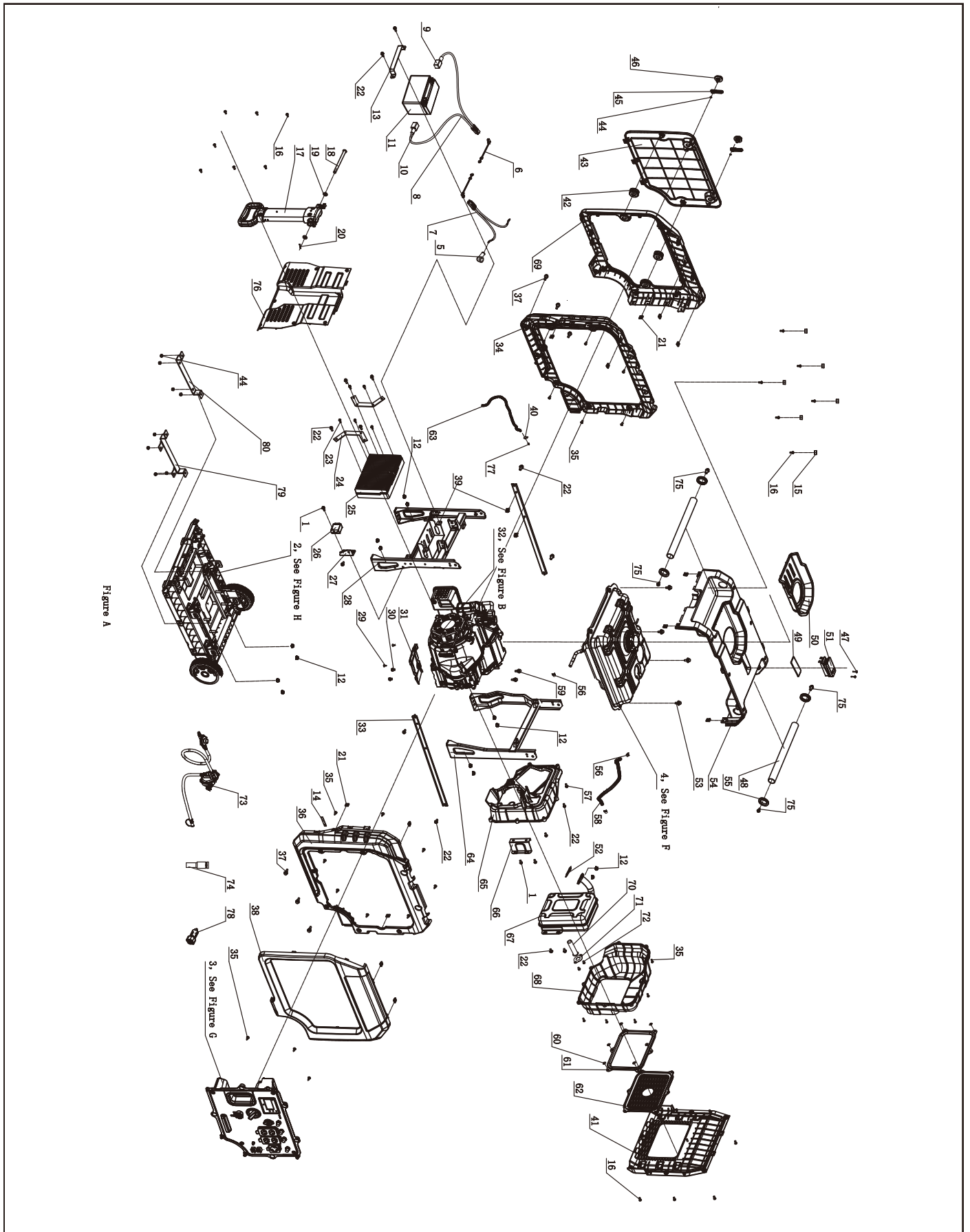


Figure A

図 A 部品リスト

#	Part Number	Description	Qty.
1	1.5789.0615	Flange Bolt M6 x 15	3
2	63.200600.00	Base Setting Component Assembly, See Figure H	1
3	63.210000.09	Control Panel Assembly, See Figure G	1
4	63.070000.01	Fuel Tank Assembly, See Figure F	1
5	152.200013.02.3	Sheath, Rubber, Red	1
6	152.200013.03	Sleeve, Connector	2
7	5.1900.139	Motor SAE Wire	1
8	5.1900.137	Battery SAE Wire	1
9	122.200013.04.3	Sheath, Rubber, Red	1
10	122.200013.04	Sheath, Rubber, Black	1
11	9.1000.090	Battery, 9AH	1
12	1.6177.1.08	Lock Nut M8, Flange	14
13	63.200902.00	Pinch	1
14	2.05.050	Clamp, Wire, 100	3
15	63.200503.00	Cover, Connect Port	6
16	1.818.0514.1	Screw M5×14	22
17	63.200700.00	Handle Assembly	1
18	63.200509.00	Handle, Pin	1
19	2.03.073	Bushing	2
20	2.16.006	Cotter Pin(Ø2×20)	1
21	2.02.010	Cage Nut M5	20
22	1.5789.0612	Flange Bolt M6 x 12	16
23	1.5789.0512	Flange Bolt M5 x 12	5
24	63.220004.00	Holder, Control Unit	2
25	63.221000.03	Control Unit, 3800W, 100V/50Hz/60Hz, Wireless Parallel	1
26	5.1800.009	Rectifier	1
27	63.200018.01	Support Arm	1
28	63.201100.01	Supporter, Left	1
29	1.845.3595	Screw, ST3.5 x 9.5	2
30	1.5789.0610	Flange Bolt M6 x 10	2
31	63.080600.01	Protector Assembly, Lower	1
32	63.690	Engine, 224 cc, See Figure B	1
33	63.201600.03	Supporter, Fuel Tank	2
34	63.200401.01	Supporter, Rear Cover, Black	1
35	1.845.4216	Screw, ST4.2 x 16	29
36	63.200101.01	Supporter, Front Cover, Black	1
37	2.08.075.1	Bolt M6 x 20	6
38	63.200101.00	Front Cover	1
39	2.05.001	Clamp, Ø8 x 6.5	2
40	2.06.006	Clamp, Ø7 x Ø1	1

#	Part Number	Description	Qty.
41	63.200302.00	Cover, Right Side, Black	1
42	63.200103.00	Rubber Sleeve	2
43	63.200402.03	Protector, Rear Cover	1
44	1.6177.1.06	Lock Nut M6, Flange	10
45	63.200410.01	Cover, Rotary Knob	2
46	63.200410.00	Rotary Knob, Protector, Rear Cover	2
47	1.823.0325	Screw M3×25	2
48	63.200700.01	Handle	2
49	63.213004.02	Rubber Pad	1
50	63.200502.00	Spillway, Fuel Tank	1
51	63.214000.00	Indicator Light Assembly, Fuel Tank	1
52	26.100001.00	Gasket, Exhaust	1
53	2.08.179.1	Flange Bolt M6 x 25	4
54	63.200500.00	Cover, Top, Black	1
55	63.200102.00	Rubber Sleeve	4
56	2.06.018	Clamp, Ø10.5 x b8	3
57	2.08.102	Screw M6×13	1
58	63.070011.01	Fuel Pipe, Fuel Valve To Carburetor	1
59	2.08.168	Bolt	2
60	2.03.069	Retaining Ring, M5	6
61	63.200304.00	Rubber Seal, Muffler Cover	1
62	63.200303.00	Muffler Cover	1
63	63.070014.02	Pipe, Fuel Tank To Air Cleaner	1
64	63.201100.02	Supporter, Right	1
65	63.081100.00	Muffler Protector Assembly, Front	1
66	63.101005.00	Supporter, Muffler Assembly	1
67	63.101000.00.2	Muffler Assembly	1
68	63.081200.00	Muffler Protector Assembly, Rear	1
69	63.200401.00	Supporter, Rear Cover, Black	1
70	46.101300.08	Spark Arrester Assembly	1
71	46.101503.08	Plate, Spark Arrester	1
72	1.9074.13.0514	Screw/Washer Assembly M5 x 10	2
73	63.130000.94	LPG Hose With Regulator	1
74	9.1130.000.1	Wrench, 10, Black	1
75	1.16674.0812	Flange Bolt M8 x 12	4
76	63.200200.00	Cover, Left	1
77	24.070030.00	Hole, Breather Tube	1
78	9.1700.008	"Plug, USB 5V/2.4A"	1
79	63.202400.00	Transportation Support 1	1
80	63.202400.01	Transportation Support 2	1

図 F 部品図

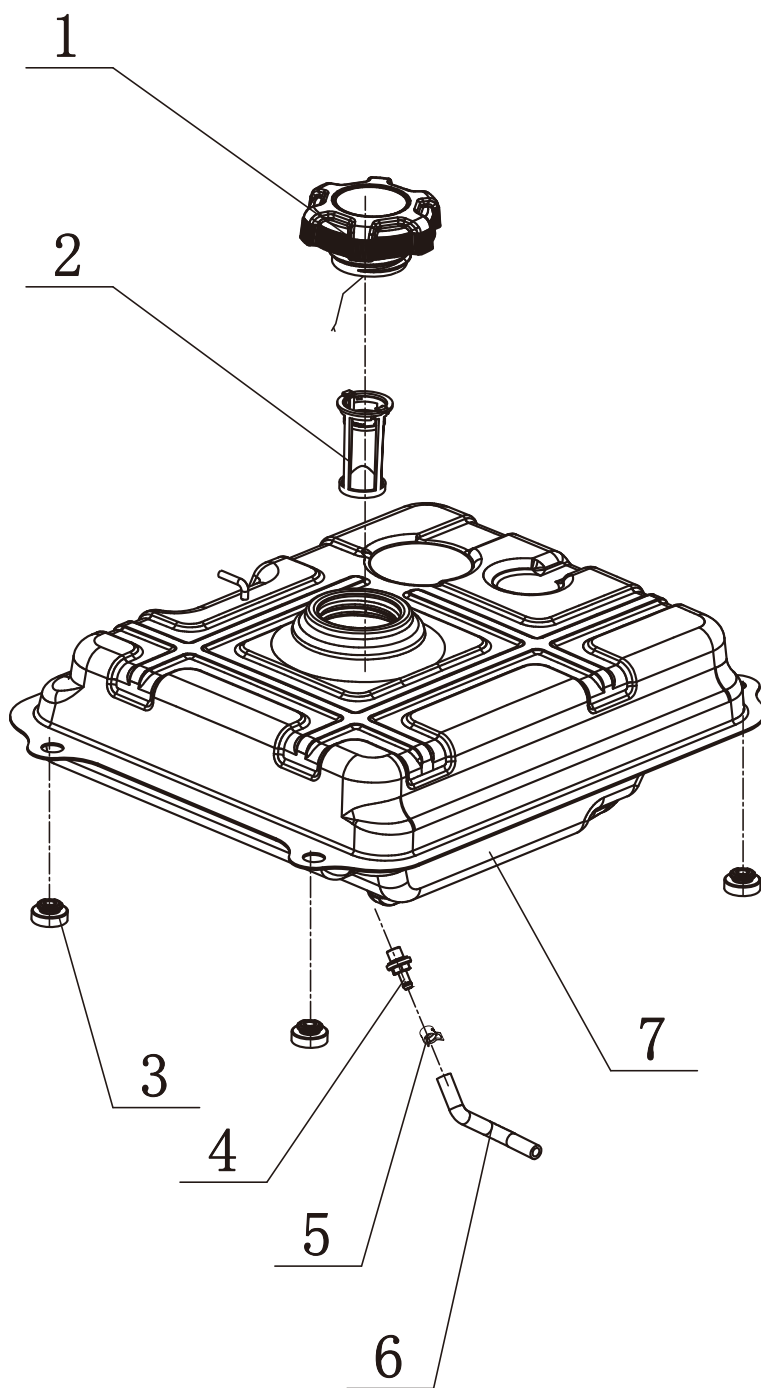


図 F

図 F 部品リスト

#	Part Number	Description	Qty.
1	122.070100.09	Fuel Tank Cap	1
2	63.070300.00	Fuel Filter, Fuel Pipe	1
3	63.070015.00	Mount Vibration, Fuel Tank	4
4	63.070600.00	Connect	1
5	2.06.018	Clamp, Ø10.5 x b8	1
6	63.070011.00	Fuel Pipe, Fuel Tank To Fuel Valve	1
7	63.071000.01.1	Fuel Tank	1

図 G 部品図

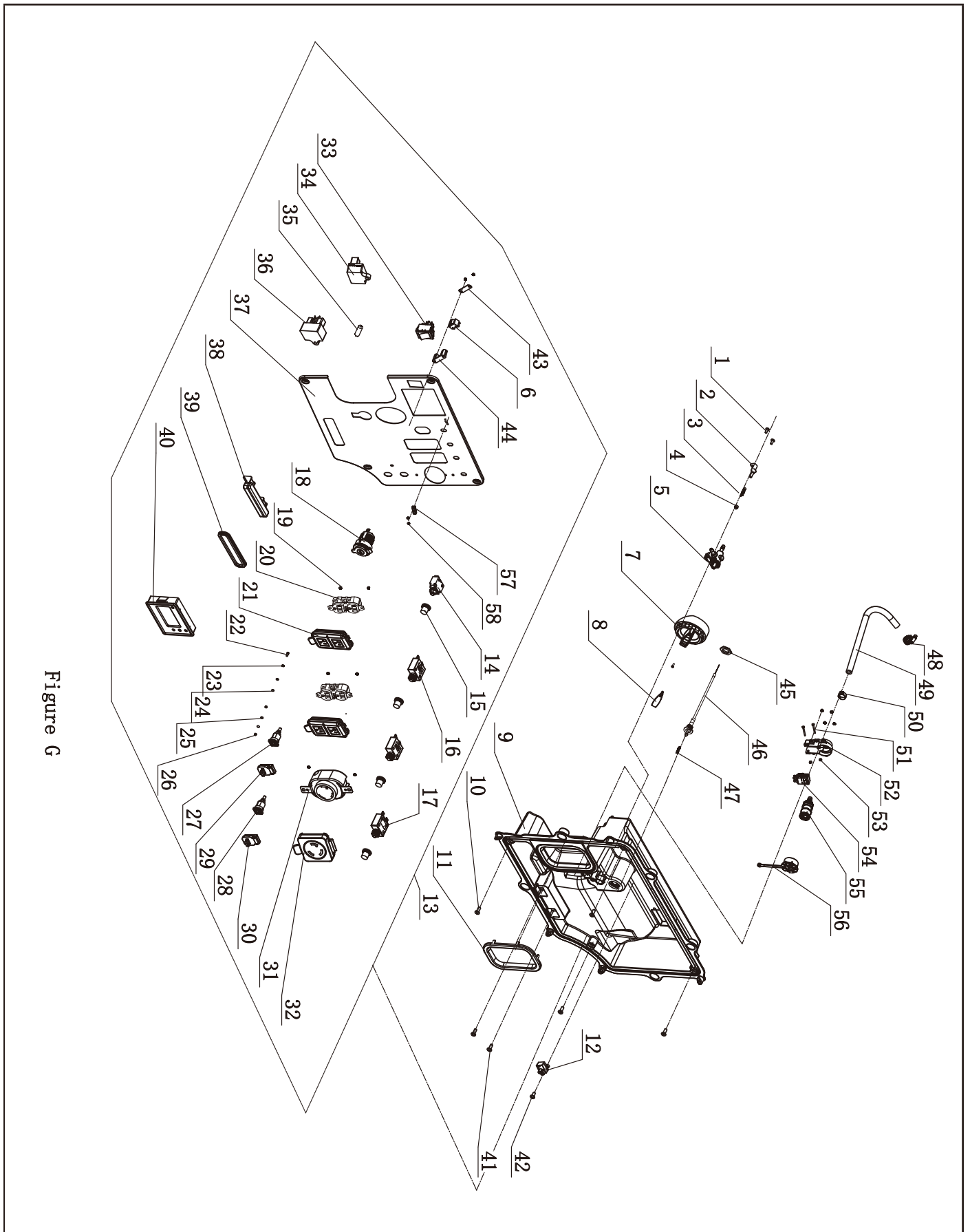


Figure G

図 G 部品リスト

#	Part Number	Description	Qty.
1	1.823.0412.1	Screw M4×12	3
2	62.139006.00	Pressure Plate	1
3	62.139007.00	Spring, Steel Ball	1
4	62.139008.00	Ball Bearing, Rotary Knob	1
5	63.070400.01	Fuel Valve	1
6	5.1050.006	Microswitch	1
7	62.139001.01	Rotary Knob	1
8	62.139002.00.48	Cover, Rotary Knob	1
9	63.210002.01	Control Box	1
10	1.9074.4.0512.1	Screw/Washer Assembly M5 x 12, Black	4
11	63.200106.00	Protector, Front Cover	1
12	5.1820.012	Charger	1
13	501003-J.21	Control Panel	1
14	5.1200.308	8 Amp Circuit Breaker, Push Button	1
15	5.1870.014	Circuit Breaker Cover, Push Button	4
16	5.1210.920	20 Amp Circuit Breaker, Push Button	2
17	5.1210.930	30 Amp Circuit Breaker, Push Button	1
18	5.1110.005	Receptacle, DC.12V	1
19	1.6177.1.04.1	Lock Nut M4, Flange	12
20	5.1120.010	Receptacle 5-20R, Duplex	2
21	5.1870.025	Receptacle Cover, Receptacle 5-20R, Duplex	2
22	1.5783.0520.1	Bolt M5 x 20, Black	1
23	1.862.05	Lock Washer Ø5, Toothed	1
24	1.93.05.1	Lock Washer Ø5, Black	2
25	1.97.1.05.1	Washer Ø5, Black	2
26	1.6170.05.1	Nut M5	2
27	83.210001.01.1	Connect Port, Black	1
28	83.210001.01.3	Connect Port, Red	1
29	5.1870.033	Cover, Connect Port, 125V/25A, Black	1
30	5.1870.033.3	Cover, Connect Port, 125V/25A, Red	1
31	5.1120.008	Receptacle L5-30	1
32	5.1870.023	Receptacle Cover, Receptacle L5-30	1
33	5.1000.005.1	Switch, Black	1
34	5.1820.009	Charger	1

#	Part Number	Description	Qty.
35	5.1280.003	Fuse, 10A	1
36	5.1830.027	Module, Indicator Light	1
37	63.019.11.48	Control Panel	1
38	63.214000.01	Indicator Light Assembly, Control Panel	1
39	63.213004.00	Indicator Light Assembly Cover	1
40	63.210017.03	Multifunction Display(2K)	1
41	1.818.0520.1	Screw M5×20	2
42	1.845.4216	Screw, ST4.2 x 16	1
43	63.213008.00	Pinch, Microswitch	1
44	63.210016.00	Seat, Microswitch	1
45	2.02.036	Thin Hexnut M16 x 1.5	1
46	63.130200.00	Pull Choke Assembly	1
47	62.130201.00	Spring, Pull Choke	1
48	2.06.023	Hose Clamp Ø20	1
49	63.070012.00	Pipe	1
50	2.06.032	Clamp, Oil Hose	1
51	1.819.1.0330	Sunk Screw M3 × 30	2
52	63.070037.00	Support, Inlet Connection	1
53	1.6170.03	Hexagon Nut M3	2
54	5.1050.000	Microswitch	1
55	63.070021.00	Inlet Connection	1
56	63.200102.01	Circular Rubber Sheath	1
57	5.1050.013	Switch	1
58	1.9074.4.0306.1	Screw/Washer Assembly M3 x 6, Black	2
59	63.061007.00	Recoil Steel Plate	1

図 H 部品図

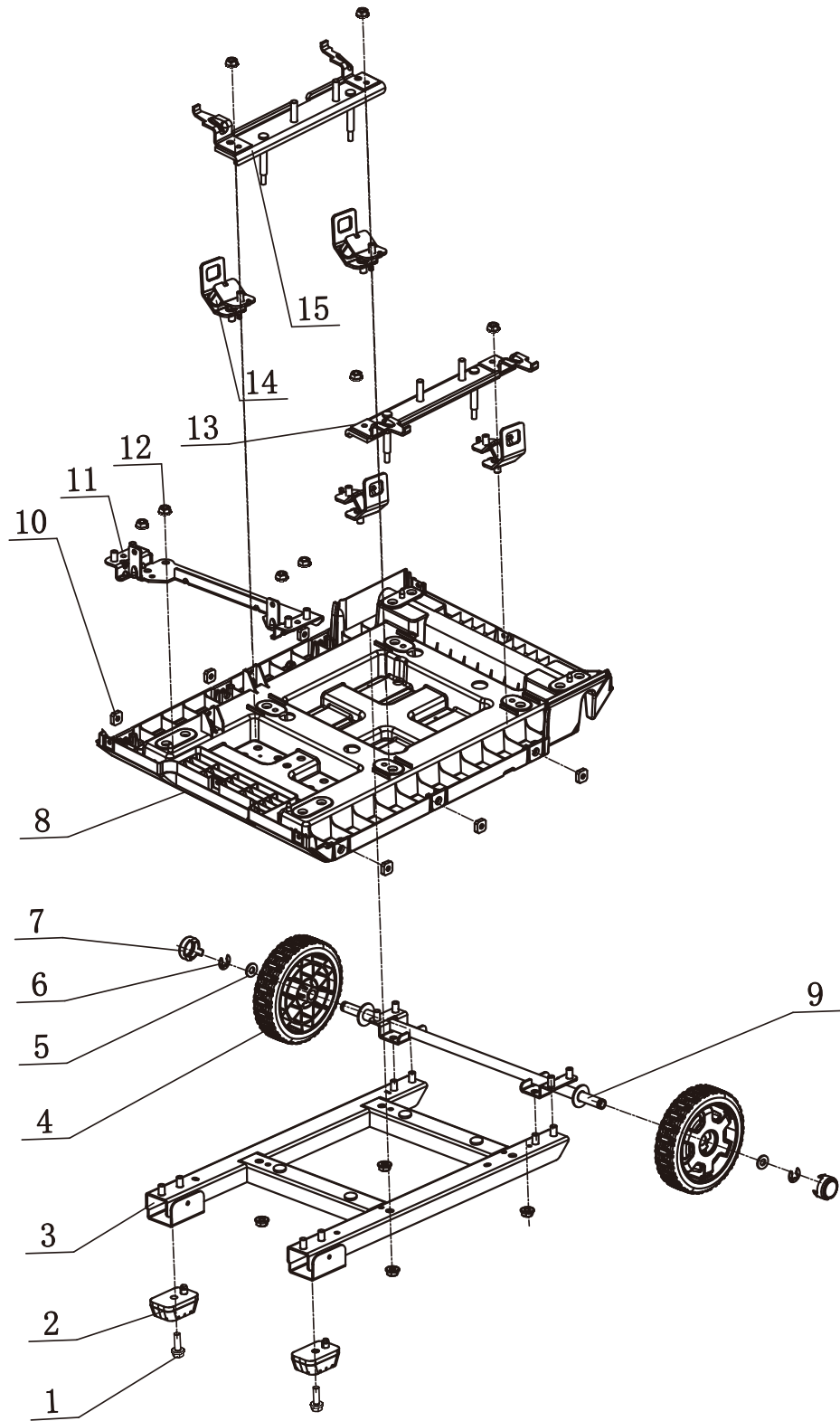


図 H

図 H 部品リスト

#	Part Number	Description	Qty.
1	1.5789.0615	Flange Bolt M6 x 15	2
2	63.201400.00	Rubber Pad	2
3	63.201100.00	Base Setting Component	1
4	83.201701.03.48	5.5 in. Wheel, Yellow	2
5	1.848.12	Washer Ø12	2
6	1.894.1.12	Retaining Ring, Ø12	2
7	83.201702.03.48	Plug, Wheel, Yellow	2
8	63.200601.00	Base Setting	1
9	63.201500.00	Axle	1
10	2.02.014	Nut M6, Square	6
11	63.201600.02	Supporter	1
12	1.6177.1.08	Lock Nut M8, Flange	12
13	63.201600.00	Supporter, Right	1
14	63.201200.00	Motor Mount	4
15	63.201600.01	Supporter, Left	1

図 B 部品図

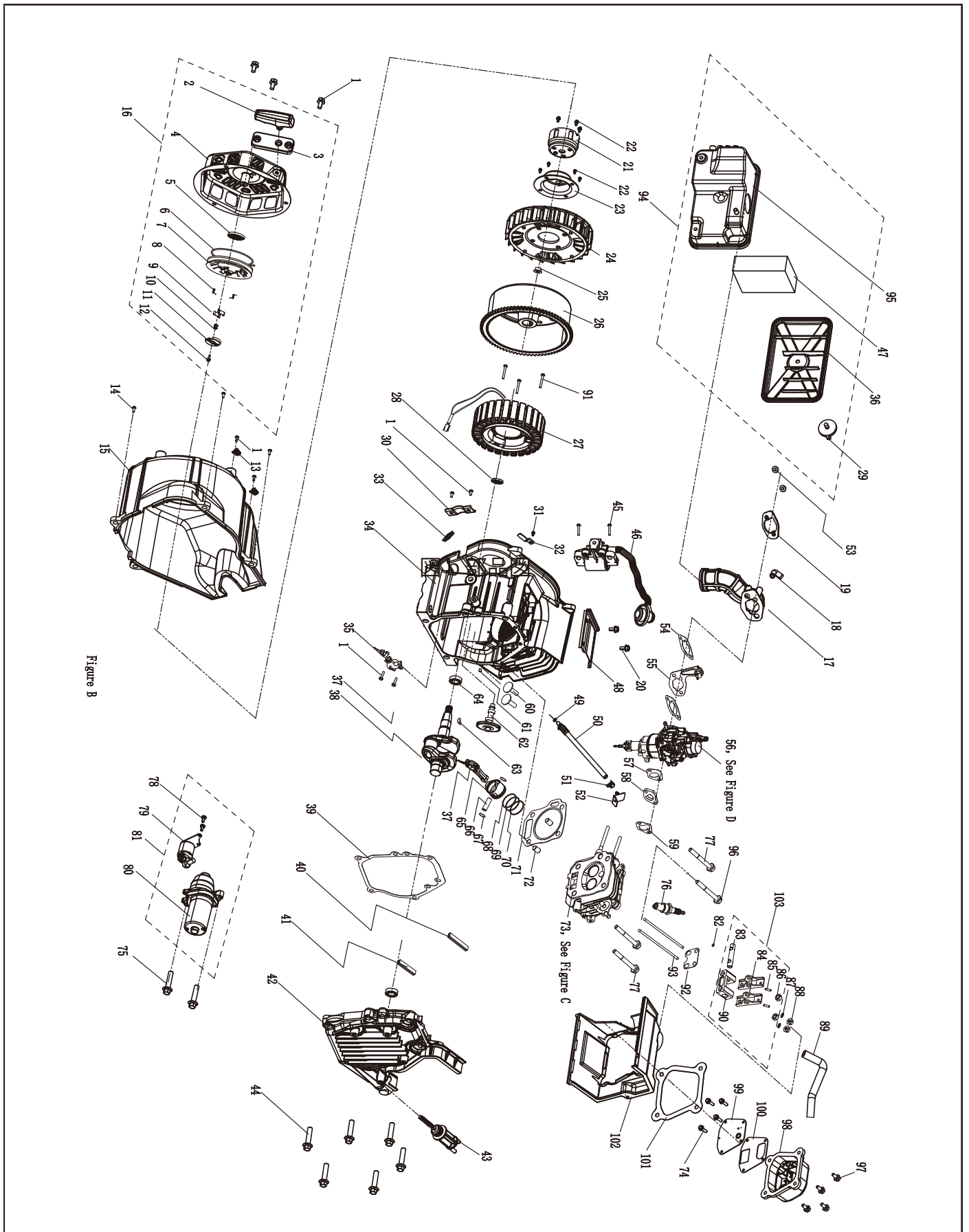


Figure B

図 B 部品リスト

#	Part Number	Description	Qty.
1	1.5789.0612	Flange Bolt M6 x 12	9
2	62.061300.00	Handle, Recoil, Soft	1
3	63.061200.00	Handle guide plate	1
4	83.061100.01.1	Cover, Recoil Starter, Black	1
5	21.061005.00	Spring, Recoil Starter	1
6	2.10.001.1	Rope Ø4x1570, Black	1
7	21.061001.01	Reel, Recoil Starter	1
8	45.060003.00	Spring, Ratchet	2
9	45.060002.00	Starter Ratchet, Steel	2
10	45.060009.00	Spring Guide, Ratchet	1
11	45.060007.00	Ratchet Guide	1
12	45.060008.00	Screw, Ratchet Guide	1
13	2.05.050	Clamp, Wire, 100	2
14	1.16674.0618	Flange Bolt M6 x 18	4
15	63.080100.01	Fan Cover	1
16	63.061000.00	Recoil Assembly	1
17	63.090004.02	Air Cleaner Tube	1
18	63.090003.00	Joint, Breather Pipe	1
19	63.090005.00	Pinch, Air Cleaner Tube	1
20	1.5789.0610	Flange Bolt M6 x 10	2
21	63.060001.00	Pulley, Starter	1
22	1.16674.0616	Flange Bolt M6 x 16	7
23	182.060002.00	Connecting Base	1
24	63.080001.00	Cooling Fan	1
25	2.02.006	Nut M14 x 1.5	1
26	63.191100.00	Rotor	1
27	63.191200.00	Stator Component	1
28	2.11.001	Oil Seal Ø25 x Ø41.3 x 6	1
29	62.200410.00	Rotary Knob, Protector, Rear Cover	1
30	182.030006.00	Pinch	1
31	1.5789.0608	Flange Bolt M6 x 08	1
32	63.030006.01	Pinch	1
33	63.030032.00	Sheath, Wire	1
34	63.030100.00.1	Crankcase	1
35	21.127000.02	Oil Level Sensor	1
36	63.091200.00	Cover, Air Cleaner	1
37	27.050200.00	Connecting Rod	1
38	27.050100.04	Crankshaft	1
39	24.030008.00	Gasket, Crankcase Cover	1
40	27.030013.00	Seal Strip, Crankcase Cover, Long	1

#	Part Number	Description	Qty.
41	27.030013.01	Seal Strip, Crankcase Cover, Short	1
42	63.030007.00	Cover, Crankcase	1
43	63.031000.00.2	Oil Dipstick Assembly	1
44	1.5789.0832	Flange Bolt M8 x 32	6
45	2.08.182	Flange Bolt M6 x 20	2
46	63.123000.01	Ignition Coil, Silicon Rubber	1
47	63.091003.00	Element, Air Cleaner	1
48	63.080300.00	Air Guide	1
49	2.03.016	Washer Ø10 x Ø16 x 1.5, Drain Bolt	1
50	83.032000.00	Hose, Oil Drain	1
51	2.06.013	Clamp	1
52	45.030200.00	Support	1
53	1.6177.06	Flange Nut M6	2
54	24.130004.20	Gasket, Air Cleaner	2
55	63.130200.01	Support, Choker Rod	1
56	63.130000.01	Carburetor Assembly, See Figure D	1
57	22.130003.00	Gasket, Carburetor	1
58	63.130001.00	Insulator, Carburetor	1
59	24.130002.00	Gasket, Insulator	1
60	25.040013.00	Lifter, Valve	2
61	2.04.001	Dowel Pin Ø9 x 14	2
62	27.041000.01	Camshaft	1
63	2.14.012	Woodruff Key 4 x 7.5 x 19	1
64	1.276.6205.9	Bearing 6205	2
65	27.050005.00	Piston	1
66	23.050003.00	Pin, Piston	1
67	2.09.001	Circlip Ø18 x Ø1	2
68	27.050303.00	Ring, Oil	1
69	27.050302.00	Ring, Second Piston	1
70	27.050301.00	Ring, First Piston	1
71	27.030009.01	Gasket, Cylinder Head	1
72	2.04.003	Dowel Pin Ø10 x 14	2
73	63.010000.00	Cylinder Head Assembly, See Figure C	1
74	1.16674.0512.2	Flange Bolt M5 x 12	4
75	1.5789.0625	Flange Bolt M6 x 25	2
76	2.15.008(F7RTC)	Spark Plug F7RTC	1
77	1.5789.0865	Flange Bolt M8 x 65	3
78	1.823.0512	Screw M5 x 12	2

#	Part Number	Description	Qty.
79	63.125200.01	Relay, Starter	1
80	63.125100.00	Starter Motor	1
81	63.125000.01	Starter Motor Assembly	1
82	21.040008.00	Rotator, Exhaust Valve	1
83	24.040202.00	Shaft, Rocker Arm	1
84	22.040009.00	Rocker Arm	2
85	22.040012.00	Screw, Valve Adjustment	2
86	21.040021.00	Nut M6 x 0.5, Lock	2
87	1.97.1.06	Washer Ø6	2
88	1.6177.1.06	Lock Nut M6, Flange	2
89	23.020001.03	Breather Tube	1
90	24.040201.00	Retainer, Rocker Arm	1
91	1.5789.0655	Flange Bolt M6 x 55	3
92	24.040004.00	Guide Plate, Push Rod	1
93	27.040005.00	Push Rod	2
94	63.091000.00	Air Cleaner Assembly	1
95	63.091100.00	Base, Air Cleaner	1
96	2.08.121	Flange Bolt M10 x 65	1
97	1.5789.0615	Flange Bolt M6 x 15	4
98	85.021101.00	Cover, Cylinder Head	1
99	85.030300.00	Ventilation Chamber Cover Assembly	1
100	85.030022.00	Gasket, Ventilation Chamber Cover	1
101	85.020002.00	Gasket, Cylinder Head Cover	1
102	63.080200.00	Air Shroud, Cylinder	1
103	24.040200.00	Rocker Arm Assembly	1

図 C 部品図

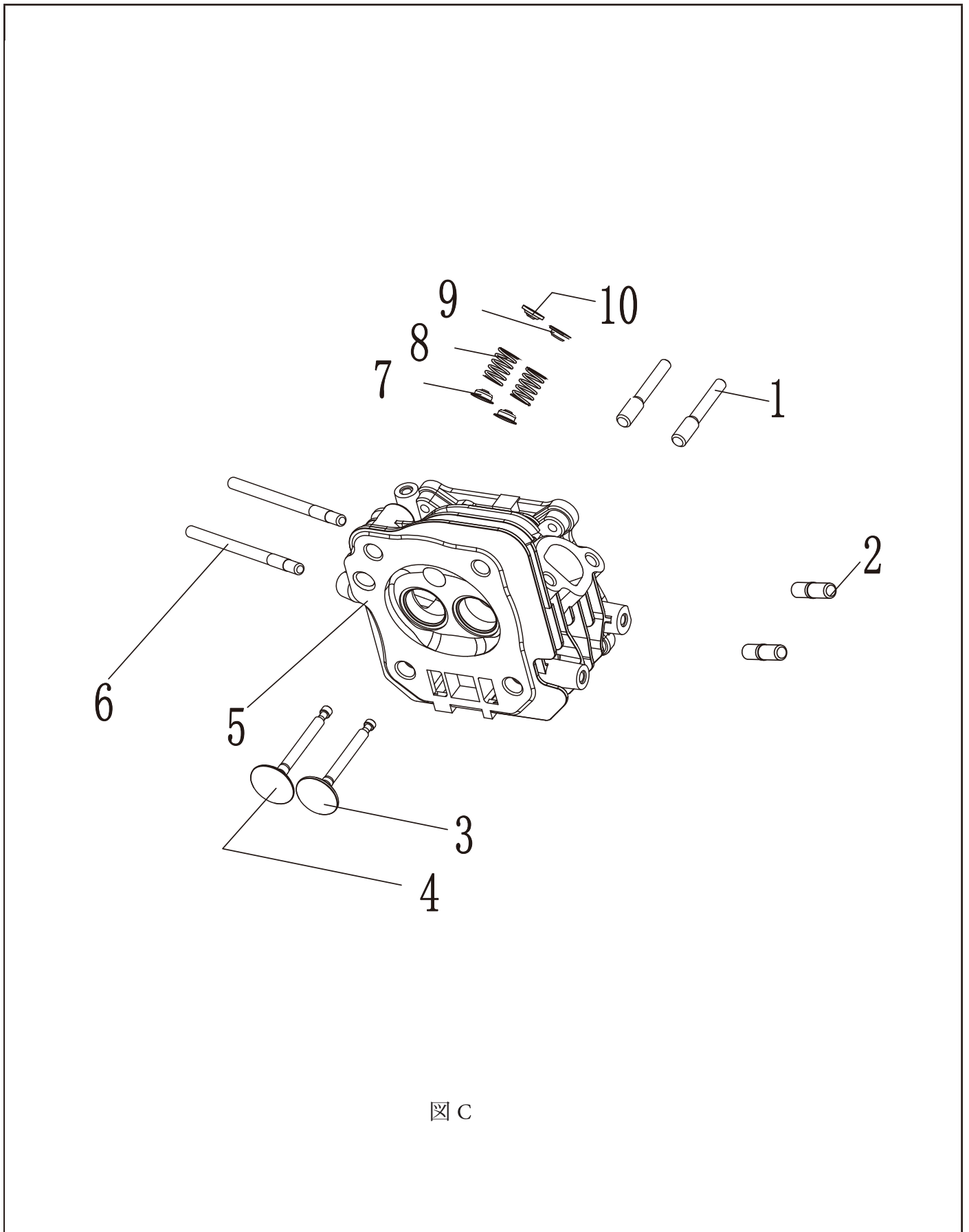


図 C

図 C 部品図

#	Part Number	Description	Qty.
1	23.040010.00	Bolt, Rocker Arm	2
2	2.01.010	Stud Bolt M8 x 35	2
3	27.040006.00	Valve, Exhaust	1
4	23.040002.02	Valve, Intake	1
5	26.010100.01	Cylinder Head, 224cc	1
6	2.01.049	Stud Bolt M6 x 99	2
7	23.040017.00	Oil Seal, Valve, Steel	2
8	21.040003.00	Spring, Valve	2
9	21.040007.00	Retainer, Exhaust Valve Spring	1
10	21.040001.00	Retainer, Intake Valve Spring	1

図 D 部品図

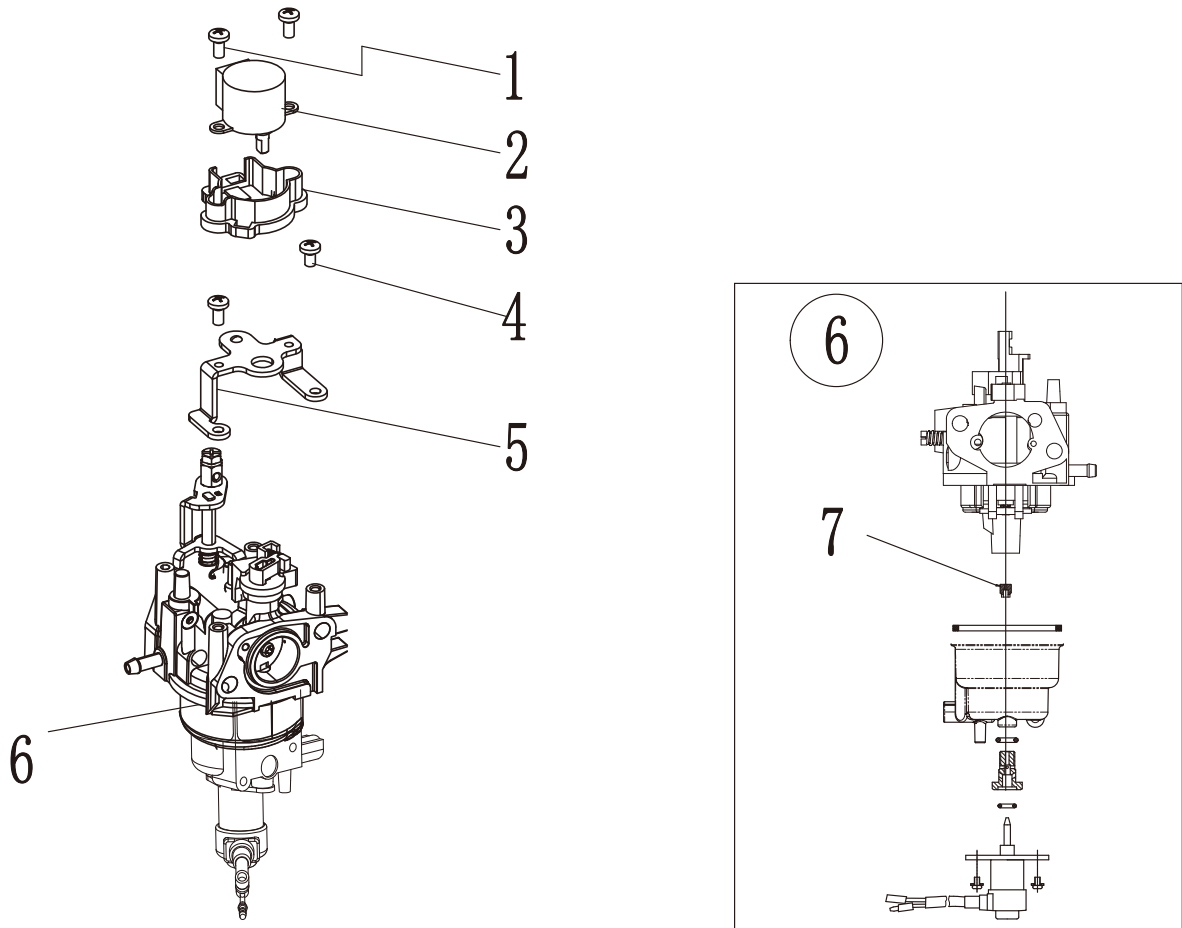
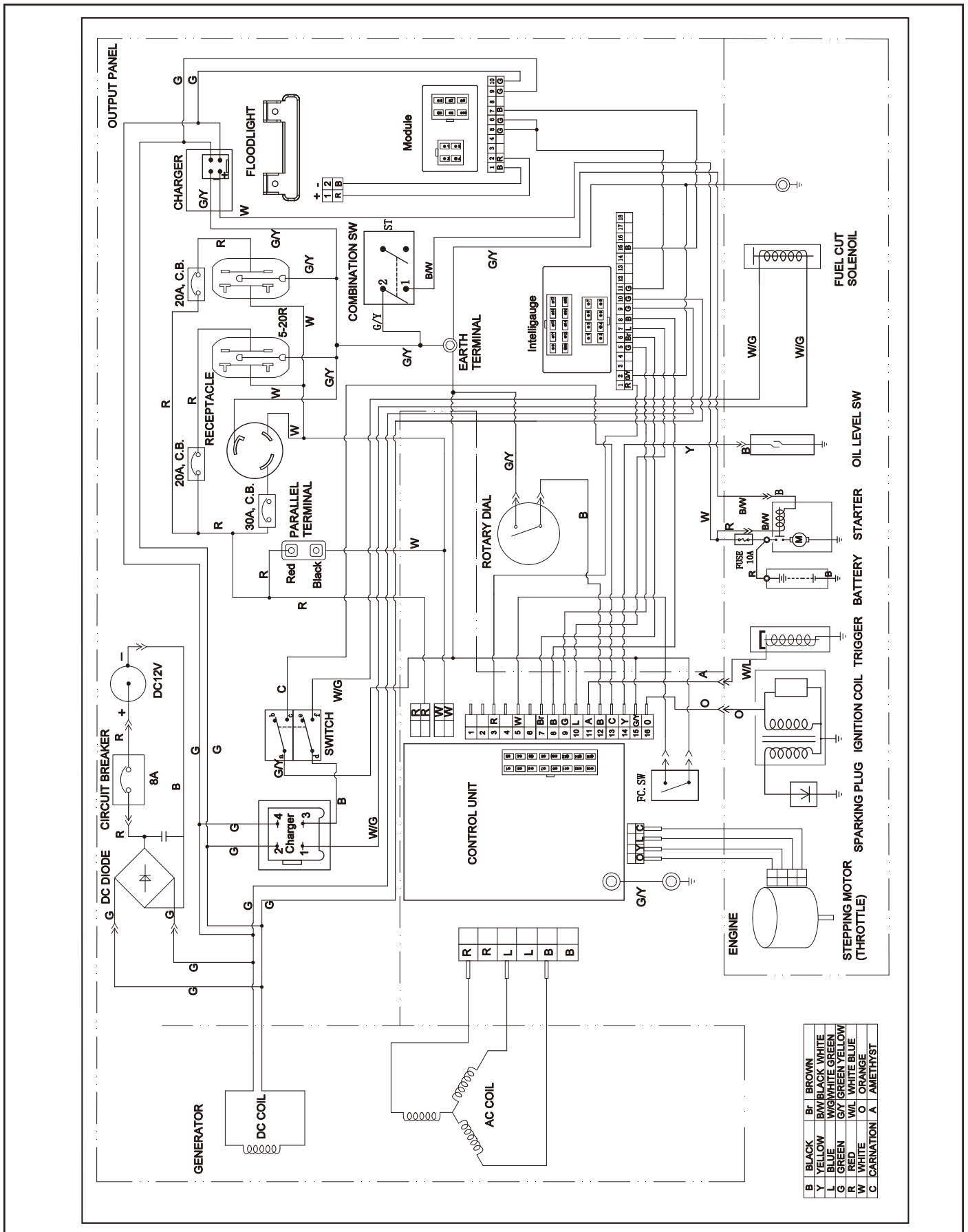


図 D

図 D 部品リスト

#	Part Number	Description	Qty.
1	1.823.0408.1	Screw M4 x 8	2
2	62.132200.00	Stepper Motor	1
3	85.132100.04	Support, Stepper Motor	1
4	1.9074.3.0408	Screw M4 x 8	4
5	85.130005.04	Support, Stepper Motor	1
6	63.131000.01	Carburetor	1
7	63.131017.00	Standard Main Jet	1
	63.131017.00.01	Altitude Main Jet	/

配線図



トラブルシューティング

問題	原因	解決方法
エンジンが始動しない	燃料が入っていない	燃料を充填してください
	スパークプラグの不良	スパークプラグの清掃と調整、または交換
	オイルレベルが低い	クランクケースを適切なレベルまで満たす
		発電機を平らで水平な場所に置く
	スパークプラグワイヤーが緩んでいる	ワイヤーをスパークプラグに取り付ける
	EZスタートダイヤルがオフになっている	EZスタートダイヤルを希望の燃料オンまたはCHOKEの位置に合わせる
	燃料が古い、または燃料に水が混入している	燃料を排出し、新しい燃料に交換する
燃料が溢れている	ユニットを10分間放置する	
エンジンは始動するが、運転が荒い	チョークの位置が正しくない	EZスタートダイヤルをRUN位置に動かす
	エアフィルタが汚れている	エアフィルタを清掃するか交換する
	燃料バルブが汚れている	燃料バルブを清掃する
	スパークアレスタの詰まり	スパークアレスタを清掃する
エンジンが電気始動しない	発電機のバッテリーが上がっている	発電機のバッテリーを再充電する
	発電機バッテリーが接続されていない	バッテリーコネクタが互いにしっかりと接続されていることを確認する
運転中にエンジンが停止する	燃料切れ	燃料タンクを満タンにする
	オイルレベルが低い	クランクケースを適切なレベルまで満タンにする 発電機を平らな場所に置く
	スパークアレスタが詰まっている	スパークアレスタを清掃する
発電機が十分な電力を供給できない または過熱している	発電機に過負荷がかかっている	負荷を見直して調整する 「電気負荷の接続」を参照
	エアフィルタが汚れている	エアフィルタを清掃するか交換する
	チョークの位置が正しくない	ZスタートダイヤルをRUN位置に動かす
エンジンは作動しているがAC出力がない	コードの接続不良	すべての接続を点検する
	接続機器に不具合がある	欠陥のあるデバイスを交換する
	サーキットブレーカーが開いている	サーキットブレーカをリセットする
	AC過負荷: ボタンが赤く点灯	AC負荷を減らし、過負荷リセットボタンが緑色に点灯するまで押す
	その他	専門業者に連絡する
エンジンがハンチングまたは失速する	エンジンガバナーに欠陥がある	ヘルプラインに連絡する
	燃料バルブが汚れている	燃料バルブを清掃する
	キャブレターが汚れていて、リーン運転になっている	ヘルプラインに連絡する
	チョークの位置が間違っている	EZスタートダイヤルをRUN位置に動かす
デュアル燃料モデルのみ: エンジンが停止しない	プロパンバルブが開いたままになっている	プロパンガスバルブをタンクの閉位置に回す
サーキットブレーカーが繰り返し落ちる	過負荷	負荷を見直して調整する 「電気負荷の接続」を参照
	電源コードまたは装置の不良	ワイヤーが損傷、裸、または擦り切れていないか点検する。欠陥のある不良デバイスを交換する
	ブレーカーがまだ熱すぎる	装置を5分間放置する